

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2014

信頼

中部大学後援会会報



中部大学

中部大学は2014年に
開学50周年を迎えます。

Vol. 60

特集・開学50周年特別企画

社会背景とつづる
中部大学の歩み

座談会

中部大学を語ろう

～これまでの50年とこれからの50年～



開学50周年特別企画

社会背景とつづる 中部大学の歩み

中部大学の歴史は、創立者三浦幸平先生によってつくられた名古屋第一工学校に始まります。

その後、1964年に念願の4年制工科系大学として中部工業大学を開学し、

以来、総合大学として発展を遂げてきた本学は、開学50周年という記念すべき節目の年を迎えるとともに、

後援会報「信頼」も第60号をお届けすることとなりました。

そこで今号は、特別企画として中部大学の50周年を社会背景とともに振り返りました。

さまざまな出来事に垣間見える先人や先輩方の熱い思い…、学生たちの息づかいも聞こえてくるようです。

1964.4

中部工業大学開学、 初代学長に三浦幸平就任

機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科の4学科で、待望の4年制の工科大として開学。翌年には、大学キャンパス内に中部工業大学附属高等学校（現：春日丘高等学校）も開校し、学校法人三浦学園（現：学校法人中部大学）は躍進の時代の幕開けを迎えた。



1967.12

第1学生ホール完成

800人収容できるホールとして完成したモダンな学生ホールは、建築学科の先生方も設計に関わった。



1967.4

中部大学後援会発足

全国から集まる学生の父母の皆さまに、大学を支援していただくと同時に、学生生活について知ってもらいたいという思いが実り、後援会が誕生。翌1968年には会報「信頼」を創刊し、1971年からは地区別父母懇談会（現：父母との集い）を開催するようになる。



1967.3

第1回卒業証書授与式挙

機械工学科21名、電気工学科17名の計38名が卒業した中部工業大学初の卒業式。当時の三浦幸平学長は、「人間は、すべてのことを知りつくすことはできない。そこで如何なる問題にぶつかっても、これを解決できる力、すなわちポテンシャル・エナジーを持ってほしい」と、卒業生へ激励の言葉を贈った。



1969.4

P.S.H.がスタート

学生の教養をより高め、教授と学生とのコミュニケーションを密にするために始まったP.S.H.（Professor-Student Hour）は、現在も、学生と教員との触れ合いの場として実施されている。

あの頃のCU

本学のマスコットは虎!

現在、中部大学のマスコットキャラクターとして活躍中の「ちゅとら」ですが、1967年に中部大学のマスコットは虎と決められていました。「なぜトラ?」。それは、創立者の三浦幸平先生が寅年だったことに由来しているのです。



ちゅとら



1969 1968 1967 1966 1965 1964 1963 1962 1961 1960



(阪急電鉄提供)

1967.3

大阪・阪急北千里駅に自動改札機の日本第1号が設置される。駅の近代化、改札業務の自動化時代の到来と言われ話題に。

1969.7

アポロ11号が人類初の月面着陸に成功。アポロ計画では最後の17号まで合計6回の月面着陸に成功し、12人の宇宙飛行士を月面に送った。

1966.6

イギリスのロックバンド、ザ・ビートルズが初来日。日本武道館で初めてロック・コンサートを行った。

1964.10

東京オリンピック開催。その開会9日前の10月1日に東海道新幹線が開通した。写真は愛知県庁前に行く東京五輪聖火リレーの様子。

1965.10

日本の大学生数が100万人を超える。当時の進学率は17%で、近年では約50%となり、高校生の2人に1人が大学（短大含む）へ進学している。



(中日新聞社提供)

1973.5

アメリカの オハイオ大学(州立)と 姉妹校提携

中部大学にとって初となる姉妹校の提携協約が、アメリカ・オハイオ大学のクロード・Rソウル学長と三浦幸平学長の間で交わされた。交流は年を重ねるごとに充実し、今年で41年目を迎えた。



1975.6

創立者三浦幸平逝去、第二代学長に山田和夫就任



1975.11

第1回課外活動授賞式

クラブ活動で業績が特に顕著な団体と個人に大学から賞状と盾が贈られる課外活動授賞式。第1回目は体育館前の広場で行われた。

1970.4

総合グラウンド完成

グラウンドは最初、現在のロタンダがある芝生広場と図書館周辺に仮の施設として造成。1969年に総合グラウンド建設計画が本格化し、翌年に現在の場所に完成した。

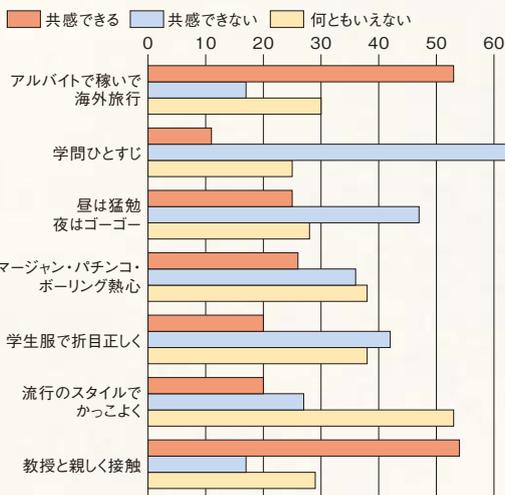


2003年、人工芝を敷き詰めた全天候型に生まれ変わった。

あの頃のCU

当時の新入生は…

1971年9月に発行された中部工業大学通信に掲載されている「新入生の意識調査」。その中にある「あなたは次のような学生像に共感できますか?」という質問が、当時を感じさせる内容でとても興味深いものでした。



1976.8

20号館完成により、教育・研究・厚生施設が充実



20号館が完成。当時は技術者の外国語教育に必要な施設として、5階にはLL教室、6階にはスタジオとそれに隣接する編集機器室と教材作成室が設けられた。全国に先駆けた導入だった。

1979 1978 1977 1976 1975 1974 1973 1972 1971 1970

1977

平均寿命が男性72.69歳、女性77.95歳で世界一となる。

1979.11

世界で初めて国際陸上競技連盟 (IAAF) が公認する女性限定のマラソン、東京国際女子マラソン (第1回) が開催。

1974.5

国内コンビニエンスストアの先駆けであるセブン-イレブン第1号店が東京都江東区にオープン。現在では、全国で5万店を超えるコンビニは、大学のキャンパス内にも見られるように。

1973.7

第一次オイルショックを契機に、「資源エネルギー庁」が発足。「省エネ」が流行語になり、エネルギー対策の一環として、テレビの深夜放送が休止された。



(中日新聞社提供)

1970.5

ミニスカートブーム全盛。1970年に開催された大阪万博で、多くのパビリオンのコンパニオンの制服にも見られた。写真は1970年5月の名古屋駅前。

1981.4 事務のコンピュータ化が進む

学生情報データベースが誕生。同時に履修登録と成績管理もコンピュータを使用して行われた。

1984.4 経営情報学部(経営情報学科)、 国際関係学部(国際関係学科、国際文化学科)を設置 中部工業大学を中部大学へ名称変更



「工学部のみではなく総合大学として、教育と研究を通じて地域社会に貢献すること」を目標に、1983年、文部省(現:文部科学省)に経営情報学部と国際関係学部の設置認可を申請。それに伴い、校名を中部大学に変更した。(3学部10学科)

1981.10 新附属三浦記念図書館、 情報処理センター(現:総合情報センター)、 体育・文化センターが完成



あの頃のCU

中部大学女子短期大学が開学!

1989年4月、春日井市はじめ地域社会からの強い要請を受け、中部大学女子短期大学が日本語日本文化学科、英語英米文化学科の2学科を擁して華やかに開学しました。



1984.9 日韓大学親善ハンドボール定期戦開始



1983年に韓国の圓光大学が来日し、親善試合をしたことをきっかけに、翌年から日韓大学親善試合が定期戦として始まった。この年、ハンドボール部は訪韓、クラブで初の海外遠征を実施した。

1984.11 中部大学創立20周年記念式典・祝賀会開催

1989 1988 1987 1986 1985 1984 1983 1982 1981 1980

1986.4
男女雇用機会均等法が施行。その後、2度の改正がおこなわれたが、現状では具体的な企業の取り組みが問われているといえる。



(中日新聞社提供)

1989.2
金融機関の完全週休二日制が開始。これによりATMのノンストップ運用、セキュリティ強化、処理速度の向上などが図られていく。



1983.7
任天堂ファミリーコンピュータ発売。家庭用ゲーム機の本格的な普及を担った。

1980.12
日本の自動車生産が1,000万台を突破し、アメリカを抜いて世界一になる。

1982.12
カード式公衆電話(硬貨併用機)第1号機が、東京・数寄屋橋公園内に設置される。テレホンカードの販売がスタート。

1990.9 オリジナルグッズ完成



開学25周年を記念してつくられたシンボルマークを使った中部大学オリジナルグッズが完成。ネクタイピンやボールペンなど5点が第一学生ホールで販売された。

1992.3 三浦幸平メモリアルホール完成

創立者三浦幸平先生の生誕100年を記念して建てられた、約600名が収容可能な多目的ホールが完成。音響にも力を入れた設計で、さまざまな式典やイベントの会場として利用されている。



1994.3 第1回 オハイオ大学 長期研修出発

提携20周年記念事業の一環として長期研修プログラムが開始され、30人が参加した。



1995.10 シンボルマーク、ロゴタイプが一新

開学30周年を機に新たに制定されたシンボルマークとロゴタイプ。シンボルマーク内の学章は、1964年、当時三浦学園の顧問であった三浦逸雄先生の紹介で、日本が世界に誇るグラフィックデザイナーで文化勲章を受章した亀倉雄策氏によってデザインされたもの。



中部大学

CHUBU UNIVERSITY

1994 中部大学ホームページ開設

日本のパソコン普及率が10%強だった1994年、本学大学院生4人と教職員が作ったホームページが、本学ホームページの始まり。1997年2月には大学入試合格者の受験番号が初めてホームページで公開された。



(開設当時)

あの頃のCU

禁煙タイム実施される!

1991年4月から、第1学生ホールのメインホールで禁煙タイムが実施されました。時間帯は11時半から13時までのランチタイム。現在では、全面禁煙化が進められています。

1999.4 第三代学長に飯吉厚夫就任

1998.4 人文学部を設置

中部大学女子短期大学を改組転換して、人文学部を設置した。

1999 1998 1997 1996 1995 1994 1993 1992 1991 1990

1998.6
第16回サッカーW杯仏大会に日本が初出場を果たす。戦績は0勝3敗で1次リーグ敗退した。

1996.6
ポケベルの契約者数がピークに。その後は携帯電話やPHSにおされて急激に減少。2007年にサービスは終了した。

1995.11
マイクロソフトがパソコン用OS「Windows95」を日本で発売。パソコン、インターネット普及の火付け役となる。

1992.9
1985年に日本初の宇宙飛行士に選ばれた毛利衛さんが、スペースシャトルに搭乗して宇宙へ。帰還直後、「宇宙からは国境線は見えなかった」とコメント。写真は中部大学で講演された時の様子。



1990.1
1979年から実施されていた共通一次試験が廃止され、大学入試センター試験が始まる。



2001.4 応用生物学部誕生

「生命と食」を領域とする応用生物化学科と、「環境」を領域とする環境生物科学科の2学科体制でスタート。2005年4月には、「食」を専門領域とする食品栄養科学科が設置された。

2004.4 法人名称を「学校法人 中部大学」に変更

2005.3 松本跨道橋完成



中部大学と県道508号線をつなぐ取り付け道路が完成。その名も新たに「松本跨道橋」として開通した。

2005.4 総長に飯吉厚夫、第四代学長に山下興亜就任

7学部30学科の総合大学へ。

2008.3 神領駅北口スクールバスのりば完成

神領駅の南北自由通路と北口ロータリーの設置にともない、北口にスクールバスのりばを移動。敷地も拡大され、ラッシュ時の混雑も解消された。



2006.4 生命健康科学部(生命医科学科・保健看護学科)を設置

2008.4 現代教育学部(幼児教育学科、児童教育学科)を設置

2009.4 国際関係学部(中国語中国関係学科)を設置

2010.4 生命健康科学部に理学療法学科、
作業療法学科、臨床工学科を設置

応用生物学部食品栄養科学科に
食品栄養科学専攻と管理栄養科学専攻を設置

2011.4 経営情報学部(経営会計学科)を設置

生命健康科学部にスポーツ保健医療学科を設置

2014.4 工学部にロボット理工学科を設置



2014 中部大学 50周年を迎える

学生支援センター棟(仮称)が2015年4月に完成予定。

※詳細はP.57参照

2014 2013 2012 2011 2010 2009 2008 2007 2006 2005 2004 2003 2002 2001 2000

2011.3

東日本大震災が発生。この震災では、テレビやラジオに加え、ツイッターなどのソーシャルメディアが情報伝達メディアとしての役割を担った。

2008.9

アメリカの投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻。世界的金融危機の大きな引き金となり、日本でもその後の雇用情勢に大きく影響した。



(中日新聞社提供)

2005.3

「自然の叡智」をメインテーマとした愛・地球博が開幕。21世紀最初の国際博覧会であり、会期中の185日間で入場者数は2,200万人を超えた。

2003.12

地上デジタル放送が東京・名古屋・大阪の3都市とエリアを限定してスタート。2011年7月24日、アナログ停波、デジタル放送完全移行を迎えた(東北3県は2012年3月31日)。

2000.9

愛知・三重・岐阜などの東海地方を中心に集中的な豪雨が発生。尾張東部では総雨量500mmを超える観測史上最大の大雨を記録した。



(中日新聞社提供)

中部大生が学ぶ キャンパスは今

1964年の開学以来、教育・研究環境を整え、学生がより充実した生活を送れるように支え続けてきた春日井キャンパス。時代の流れとともに、施設や設備も変わっています。最近の大学ってどんな感じなの？ そんな疑問に少しでも答えられるようにキャンパスの今をご紹介します。

合計1万人超

2014年度に新たにロボット理工学科が開設され、今年度から7学部30学科体制でスタートした中部大学。すべての学部在籍者数を合わせると10550人になります。専任教員の数は475人で、教員一人当たりの学生数は22.2人となり、手厚い指導が可能なのがわかります。

工学部…3,283人	応用生物学部…1,404人
経営情報学部…1,329人	生命健康科学部…1,590人
国際関係学部…549人	現代教育学部…723人
人文学部…1,672人	大学院…290人

※2014年5月1日現在



IC学生証

講義の出席確認も、図書館への入館も、駐車場へ入るときも…、いろいろな場所で学生がかざすのがIC学生証。電子マネー「Edy」機能も搭載しており、学内での証明書等の発行、コンビニ、自販機などでも利用できます。



社会で生きる力を磨く

現場で活躍できる指導者を育成するには、早い時期から実際の作業を体験しなければなりません。本格的な設備を使うことで身につく本物の力、そして専任の先生による直接指導。指導方針の大きな特徴です。



学生食堂

1967年当時、第一学生ホールのおどん1杯の値段は30円でした。それから約50年後の現在、5つの学生ホールをはじめ、キャンパス内の各所でランチが食べられるようになりました。焼き立てパンを販売するベーカリーショップも人気です。



ちゅとらパンだ〜



最先端で学ぶ

各種実習室には、高性能の装置や機器がたくさん導入されており、学生一人ひとりに用意される機器もあります。これら装置を学生自身が実際に使用しながら、さまざまな内容の実習を学ぶことができます。



学内にコンビニ

キャンパスプラザ、第1学生ホール、第3学生ホールにそれぞれプリンイレブンがあります。公共料金の支払い、ATMなどが利用でき、学生生活を支えています。



どこでもつながる

学内のラウンジには自由に使えるパソコンがズラリ。自分のノートPCやスマホでも無線LANでネット接続OKです。2012年度からはスマホを利用した授業評価を取り入れるなど、ネット環境はますます充実しています。



頑張る 学生の味方

授業の合間や休憩時間、友人とおしゃべりタイムのお供に欠かせないドリンク。自動販売機が学内の各所に設置されています。カップ麺やパンなどを販売する自販機もあり、卒業研究やクラブ活動で帰りが遅くなったときに重宝されています。



いのちを救う

キャンパス内の13カ所に設置されているAED(自動体外式除細動器)。使い方を学ぶ講習会やAEDを使った防災訓練などをおこない、いざというときのために知識と技術を身につけています。



キャップ回収中!

6分別のゴミ箱横に置いてあるペットボトルのキャップ回収BOX。スーパードでも見かけることが多くなりまして、こは毎日1万人が集う場所。さすがに結構集まります。近隣の小中学校にも協力してもらい、2013年度は約45万4千個のキャップを回収。集まったキャップはワクチン支援活動に役立てられています。



エコが基本

中部大学では、キャンパスのエネルギー費やピーク電力量の削減など、エネルギーのマネジメントを実施中。また、学生も節電や打ち水、かき氷の無料配布をおこなうなど、キャンパス全体で環境に対する配慮をおこなっています。



後援会会長メッセージ



まずは子どもが通う
大学をよく知り、
親同士の対話から。

中部大学後援会長 佐藤 一彦
さとう かずひこ

この度、小澤会長の後を引き継ぎ、会長に就任いたしました佐藤です。謹んでご挨拶を申し上げます。本年、中部大学は開学50周年を迎えます。この記念すべき年に、伝統ある後援会の運営に携わることになり、責任の重さをあらためて痛感しています。

さて本会は、会員皆さまのご息ご息女が、中部大学における学業や課外活動等をはじめ、学内外を問わず、より充実した学生生活を送れるよう物心両面からさまざまな支援を行うとともに、会員同士が親睦を図ることを目的に設立された保護者の会です。子どもたちへできる限りの支援を惜しみなく注ぐのが私たち親の役目。しかし、お互いをよく知らなければ支援もできません。子どもの考えをしっかりと

聞き、子どもが親を尊敬できる関係を築くなど、親と子の信頼関係を育むことも支える上で大切ではないでしょうか。そのためには、まず子どもが通う中部大学をよく知ること、そして積極的に親（保護者）同士が対話することが不可欠です。この二つを基盤に据えて、学生、先生方、卒業生の方々と密に連携し合い、情報を共有して絆を深めていきたいと思っています。

情報伝達におけるスピードがますます向上する昨今ですが、会員の皆さま一人ひとりの声を尊重し、子どもたちと大学が充実した時代をつくっていくような活動を行っていく所存です。どうか皆さまの一層のご理解、ご協力を賜りますよう、また重ねて後援会活動へのご参加もお願い申し上げます。

学長メッセージ



自ら進む道を開拓し、
希望を実現できる
真の社会人を育てます。

中部大学長 山下 興亜先生
やました おきつぐ

後援会の皆さまには、本学における教育、課外活動、就職などに関するさまざまなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度より工学部にロボット理工学科を開設し、新入生を迎え入れました。これに伴い、7学部30学科の本格的な総合大学として、皆さまの期待に応えられるよう、教育・研究を進めています。また大学院におきましても、工学研究科に創造エネルギー理工学専攻、生命健康科学研究科にリハビリテーション学専攻を開設しました。在学生数は約11000名となり、全国の私立大学の中でも上位に入る大規模大学になりました。学生は、大学4年間を通したキャリア教育と、実社会で採まれることにより、仕事に対する素養と真の社会人としての能力

を身につけていくと考えています。昨年から「地域と共生する大学」として春日井商工会議所と協定を結び、新たな試みである「報酬型インターンシップ」に取り組んでいます。

中部大学は今年、開学50周年を迎えます。今までの50年を冷静に見つめ直し、次なる50年を展望しながら、幾多の事業を進めています。その一つが、建設中の「学生支援センター棟（仮称）」です。学生が主体的に学習する習慣を身につけ、他の学生たちと切磋琢磨しながら自身の長所や特技を伸ばしていく拠点としての役割が期待されています。その他にも、更なる発展を目指してさまざまな事業を企画・立案し、実行に移しているところですが、引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。

CONTENTS

信頼

Vol. 60



表紙／現代教育学部 幼児教育学科1年 石田 妃美さん(右)
人文学部 英語英米文化学科1年 中島 有香さん(左)

開学50周年特別企画 社会背景とつづる 中部大学の歩み

P.01



中部大学を語ろう！ ～これまでの50年とこれからの50年～

P.11

一人ひとりと向き合い、生き方を支援

中部大学のキャリア支援

P.17

先輩インタビュー

内定&進路決定までの軌跡

P.21

CLOSE UP

クラブ&サークル

P.23

学生生活を満喫できるプログラム

Let's CHALLENGE

P.27

学科&ゼミ紹介

P.28

継続は力なり！

チャレンジ・サイト活動報告



P.32

中部大学ボランティア・
NPOセンター2013年度活動報告

P.35

留学・国際交流

～世界とつながる中部大学～

P.37

父母インタビュー

わが子と大学に期待する親の本音。

P.39

中部大生に聞きました！

親との理想的なコミュニケーション

P.45

平成26年度 中部大学後援会

「役員会・評議員会」

平成25年度事業報告／平成26年度事業計画／

平成26年度後援会役員・評議員名簿／後援会会則

P.47

YEAR ALBUM 2013～2014

P.50

Information

施設利用&イベント開催のご案内

P.54

My Campus Life

P.55

最新ニュース

NEWS&TOPICS

P.57

開学 50周年記念 座談会



中部大学を語ろう

〈これまでの50年とこれからの50年〉

【日時】2014年7月14日(月) 17時30分より 【場所】中部大学 第2小会議室

今春から7学部30学科体制で新たに歩み始めた中部大学。今回の座談会は、学業や課外活動に積極的に取り組む学生3名と、山下学長、本学卒業生で常勤理事の山田先生、栗濱学生部長(学生教育推進機構副機構長)と共に、それぞれの立場から中部大学への思いを自由に語り合っていました。

50年の歩みと 創立者の思い

栗濱 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。中部大学は開学50周年を迎える節目の年を迎えました。本学の

建学の精神「不言実行 あてになる人間」の意味を再確認し、長い年月を掛けて作り上げたシステム・環境などを今の学生たちがどのように活用し、どこに魅力を感じているかを語り合いたいと思います。また、中部大学の特長や個性がどこにあり、何に力を入れて取り組み、今後

どのように発展していったのかなどについても語っていきたいと思います。はじめに、山下学長と山田常勤理事に開学から現在までの歩みについて、お話しただきたいと思います。

山下 50年前に開学された当時から、社会からあてにされる人間、必要とされる人材を育成し、社会へ送り出していくことが根幹にありました。「不言実行 あてになる人間」は、地中深く脈々と流れる地下水のようであり、その地下水を枯れることの無い資源として有効に活用してきたのです。社会が変化して

いくと同時に、大学も変化してきました。中部大学の変化は成長の連続に尽きます。大学の発展は、教育と研究の発展にどのように関わり、貢献してきたかだけではなく、社会に対してどのような仕事をしてきたのかにもあります。私たち中部大学の発展は、さまざまな活動を通して教育・研究そのものの発展に貢献し、社会からあてにされる人間を育て上げ、社会へと輩出してきたことにあるのです。7

万人以上を誇る卒業生たちの蓄積が、今日の中部大学を築いてきたといってもよいでしょう。最近の大きな流れとして、大学はティーチング(教授)からラーニング(学修)する場へと変化してきています。もともと中部大学では50年間に渡り、学生が主役となる取り組みをしてきました。「あてになる人間」の育成は、与えられるものではなく、自ら成長していくことであつたはずです。

語っていただきました。次は、山田先生お願いします。

山田 私は開学の翌年に入學した、中部大学のOBです。また、50年間のうちの45年間を見てきた数少ない教職員の一人でもあります。創立者の三浦幸平先生が書かれた本『半生の軌跡』は私の宝物です。この本には、中部工業短期大学を創られるまでの歩みが書かれています。中部工業大学として開学した昭和39年は、まだ4学科しかなく、入学生も300人以下でした。現在の学生数と比較すると30分の1の規模で、校舎も少しだけでした。そのような時代から50年が経過した今こそ、学生たちに『半生の軌跡』を読んでもらいたいと思います。三浦幸平先生は常々「50年の年月が経たないと大学らしくならない」と仰っていました。ですから、開学から半世紀が経つたとはいえ、大学としてはまだまだこれからです。開学当時は学生数が少なかったこともあり、学生と先生との距離が非常に近く、事務職員も学生の顔を一人ひとり

覚えていました。現在は学生数だけでなく、教員数も増えており、各学科の先生と学生との距離に変化はないはずですが、昔に比べて距離感を感じずにはいられません。『半生の軌跡』は大学の図書館に置いてありますから、ぜひ読んで中部大学が生まれるまでの流れとその苦勞を知り、偉大な先生が創立された大学であることを学生の皆さんに知ってほしいと思っています。

学生生活と大学で学ぶということ

栗濱 創立者の魂を学生たちにも分かってほしいという山田先生のお話でしたが、学生の皆さんはそのような歩みを経てきた大学で学生生活を送っています。大学で力を入れていたり、や、その取り組みを通して身に付いたことなどはありますか。

小林 先程、先生と学生との距離が遠くなったという山田先生のお話がありました。私の所属する理学療法学科の先生方は、学生のことも考え、とても

親身になってアドバイスをしてください。学生として距離感を感じることはありません。私が力を入れていることは、今年で設立10周年を迎えるボランティア・NPOセンターの活動です。友達に誘われたことが始めるきっかけでしたが、大変な思いをしながらも企画が終わった時の達成感が忘れられず、現在に至っています。今年は、さまざまな10周年記念行事が行われるため、例年に比べて学外の方と接する機会や依頼件数も増えています。そのような活動の中で人と接する態度が身に付いてきました。活動を通して、中部大学ボランティア・NPOセンターが有名になっている実感と信頼されていることに喜びを感じています。

高橋 私は無線部に所属していますが、クラブ運営委員に選出され、クラブ運営委員会で学内にある全てのクラブ活動が円滑に進むように運営を行っています。代表者会議の開催や毎年恒例のナイトウォーク、大学祭での8時間自転車耐久レースの

運営などもしています。無線部の活動としては、中部大学開学50周年記念局を開局して、無線で交流をさせていただいていらっしゃる方々の中で、中部大学に興味を持っていただいている人へ、大学のことを伝えていきます。無線のコンテストでも良い成績を残そうと一生懸命頑張っています。大学に入学したら新しいことを始めてみたいという思いから始めた無線。それが縁でクラブ運営委員にも選出されました。自分が成長できればいいなとの思いで取り組んでいます。

今泉 夏季課外活動で新入生を対象としたフレッシュマンキャンプを運営する学生リーダーを担当しています。他の学生リーダーと協力しながら、教職員の方々や先輩、歴代OB・OGの方々などの力をお借りして取り組んでいます。このように多くの人の力を借りて、一つのことを成し遂げることができるとは、まさに学生リーダーの醍醐味。これらの経験は社会に出てから必ず役に立つと思っています。私がこの活動に参加するように



なってきたわけは、実は入学前に大学から送られてきたDVD。その中で紹介されていたフレッシュマンキャンプがとても楽しそうだったからです。

山下 小林さんは“外から学び、外で学ぶ”。高橋さんは外との関係で“新しいことを学ぶ”。今泉さんは“先輩たちから学ぶ”。いずれにせよ、大学とは学ぶところになりますね。学ぶことは決して先生だから学ぶ

ものではありません。そういうところに大学生の成長があるのでしよう。大学は大人の社会です。学びたいあらゆることを、あらゆる場所で、あらゆる時に学ぶ。学び方を学ぶ前に卒業してはいけません。今日ここにいる皆さんは学び方を学んだからもう卒業してもいいと思います(笑)。

栗濱 山田先生は、最近の学生たちを見ていて気付いたことや、

学生生活において学生に望むことはありますか？

山田 学科の仲間が、4年間一緒にいるのが、クラブやボランティア活動は各学科・学年を超えて広い人脈ができていくところが、近年ではクラブなどに所属する学生が少なくなっています。学生の皆さんにはクラブ活動に励み、クラスの学籍番号が近い学生同士

で集まらずにコミュニケーションを積極的に図り、友達の輪を広げてほしいですね。私は大学の同期生の顔と名前をほとんど覚えており、年に一度は飲み会を開いています。卒業後もさまざまな付き合いを続け、母校を応援しています。ぜひ皆さんも活動を通して、皆さんの後輩にもっと呼びかけてもらいたいと思います。

活動から見えてきた提案と課題

栗濱 山下学長からは早くも卒業の許可が出ましたが(笑)、山田先生からは宿題が出されました。学生は母校である中部大学を活動拠点とし、卒業生は中部大学を戻って来る場所だと意識してもらいたいと思っています。皆さんはクラブ活動、課外活動をしています。そのような活動をしていない他の学生を巻き込むアイデアがありますか。

今泉 フレッシュマンキャンプでは、入学式当日でのピラ配りや、

授業前の時間を利用して取り組みの楽しさを伝えていきます。これからは、学内掲示板の利用やフェイスブック、ツイッター、LINEなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を利用した情報発信による宣伝を大々的にしてもいいのではないかと考えています。

高橋 クラブに所属する学生数が減っている実感があります。クラブ活動では

人とのつながりもできませんし、授業では学べないことを学べるので、多くの学生に参加していただきたいですね。自ら一歩を踏み出していかないと、クラブに入部して活動するまでに至りません。そのためにもう少しがんばってほしいです。

小林 中部大学ボランティア・NPOセンターでは、夏のオープンキャンパスに来場していただいた

た高校生や保護者の皆さんを対象に、“おもてなしボランティア”として案内などを行っています。案内をした高校生に、入学したらNPOセンターに入りたdit言ってもらった経験は本当が入学前にDVDが届いてフレッシュマンキャンプに入りたくなったことと同様に、入学前に中部大学へ入ろうと考えてくれ

今泉 貴暉さん
いまいずみ たかあき
応用生物学部 環境生物科学科3年



フレッシュマンキャンプ



新入生(フレッシュマン)を対象に3泊4日、大学の施設「新穂高山荘」に宿泊し、自然の中で普段の生活ではできない色々な体験をする行事です。山頂の景色が最高の穂高登山や、炎が幻想的なキャンプファイアー、みんなで考えて作る穂高鍋などのプログラムがあり、上級生や教職員、仲間と寝食をともにしながらコミュニケーションを深めています。

る高校生たちを増やし、興味を持つてもらうことも必要だと思います。

山下 入学の動機付けが、学科だけではなく、クラブやボランティア活動が素晴らしいということもあるですね。

山田 高校生と年の近い学生たちに、大学が楽しいということとを語ってもらえるとイメージをつかみやすいのかもしれない

せんね。

山下 大学の授業は、決められたことを行う規定演技に例えられる。その一方で、クラブ活動は得意なことを色々と組み合わせる自由演技です。学生たちは規定演技だけでは満足しませんが、自由演技を行わないはずがありません。クラブ活動などに参加する学生が少

ない要因は、クラブ活動の枠組みが狭すぎるからなのではないか。今以上に多種多様なクラブを創り、活動をより自由にすればいいのでしょうか。大学生活で規定演技だけをしていたら堅苦しくて窒息してしまいます。自由演技をどこで、どのような形で行うのが課題になりそうですね。

高橋 大学でクラブ活動をする場合、制約があまりに多すぎて自由にできない

という話をよく耳にします。そのような理由でクラブ活動から学生たちが離れていってしまうのかもしれない。

山田 大学はそれほど厳しくしてはいないと思います。私個人の見解として、今の学生たちは幼い頃から大事に育てられてきました。壁にぶつかっても、苦勞して突破する前に親が全て壁を取り払ってしまっています。私たちの頃は鉛筆もナイフで削っていました。今は危ないという理由でそのようなことはさせません。このような経験が少ないからなのか、不安に感じているのではないのでしょうか。また、クラブに所属すると先輩がうるさ

いだけでなく、自分の時間まで管理されることが嫌なのかもしれません。しかし、社会に出るとそれが当たり前です。嫌な上司がいれば、嫌な後輩もいるかもしれない。時間を守らなければ怒られます。人とのコミュニケーションを通して、自分の人間性をきちんと確立し、社会性を身に付ける場所がクラブ活動のはずです。

栗濱 皆さんは規定演技だけでなく、自由演技もして

ますが、そういうことをせずにアルバイトばかりしてしま

う学生もいるよう

です。そのような学生についてはどのよう

に考えますか？

今泉 授業が終わるとすぐにアルバイトへ行ってしまう友達

がいますが、家庭

の経済的な事情で

アルバイトをしな

ければ生活できない

という理由があり

ます。大学側がそのような学生に

対してもっとサポートできないの

かなと感じる部分があります。

そうすれば、もっと自由演技を

行うことができる学生も増えて

くるのではないのでしょうか。

小林 ボランティア活動をして

いて、友達に「給料も出ないのに

よく頑張るね」と言われること

があります。アルバイトの場合

は、その目的にお金が大きく占

める

ていて、アルバイト先での人間関

係も良いと思いますが、アルバイ

トのし過ぎで勉強に支障が出て

いる学生もいます。大学生であ

る意味を考えてほしいですね。



ボランティア・NPOセンター



小林 千夏さん
生命健康科学部 理学療法学科3年

2004年に学生自身によるボランティア活動団体としてスタートした当センターは、2009年9月に大学の組織として位置付けられました。行政・企業・NGO/NPOと連携し、学内・地域社会・国際社会のさまざまなレベルで大学発の社会貢献を行うこと、そして学生自らが主体的に考え・行動し、成長していくことをミッションとして活動しています。

工学部 電子情報工学科3年
高橋 泰志さん



無線部

無線部は、準備会が1964年に設立され、1968年には同好会に、そして翌1969年には公式クラブとして成長してきた歴史あるクラブです。現在は、アマチュア無線や電子回路、プログラムなどの技術を極めることを目標に活動中。今年は、中部大学開学50周年記念局を開局し、中部大学の名前で開学50周年を日本中に、そして世界中にアピールしています。

大学の新しい 活用の仕方と それぞれの展望

山下 学生には個性を大事にしてほしい。人と競争するのはなく、自分と競争してほしいですね。大学は自分の人生をどう生きるかを学ぶ場所。学び続ける習慣を身に付けることが一番重要だと思っています。みんなが先生であり生徒なのですから。人にはない自分をつくっていく力は人生の財産になります。たとえ、人が評価してくれなくてもそれでいいのです。それくらいのことを気にしない勇気と実力を持つてもらいたいです。

山田 学生には、基礎学力と人間力をつけてもらいたい。そのた



中部大学長

山下 興亜先生
やました おきつぐ

めの活動拠点として、来年の春完成に向けて「学生支援センター棟（仮称）」を建設しています。建設費の一部は、企業や卒業生、教職員などによる寄付によるものです。賛同していただいた方々の期待に応えられるよう、学生自らが企画し、学部学科を超えて学生同士が学び合い、プレゼンテーションやディスカッションなどをする場として利用してもらいたいと思います。

栗濱 大学は学生たちに「人間力」を身に付けてもらうため、さまざまなプログラムや環境を用意しています。自主的に学び、学生同士のコミュニケーションを通して「人間力」を身に付けることを大学は望んでいます。では、最後に皆さんの将来への展望や夢、あるいはそれを叶えるために必要なこと、大学への要望などもあればお願いします。

高橋 電子情報工学科に在籍していますので、将来は興味のある電磁波を利用したエネルギー応用分野などで世界を変えるような功績を収め、歴史に

名を残したいと考えています。そのために、クラブ運営委員会の取り組みを通して身に付けた、運営方法や人をまとめる力を活かしていきたいです。所属する無線部は50年ほど前は世界コンテストで優勝するなど、中部大学と言えは無線部と言われた時代がありました。そこまでの実力はありませんが、再び世界一を狙えるように取り組んでいきたいと思っています。

小林 ボランティア・NPOセクターが10周年を迎えました。これからも学内・学外から信頼されるセンター運営をしていきたいです。そして、大学に学生支援課や会計課、教務支援課などがあるように、ボランティア課を設置するのが目標です。

ボランティア・NPO活動に興味を持った学生に親身になって対応し、学生のボランティア精神を高めていきたいなと考えています。学科の学びとしては、患者さんに信頼される高い技術を持った理学療法士を目指して勉強に励んでいきたいと考えています。

今泉 フレッシュマンキャンプの主役は一年生。参加した一年生が毎年のように楽しかったと言ってくれることが喜びであり重要な取り組みです。私が参加した班のメンバーは、その後何度か集まったりしているのですが、卒業後もこのつながりはずっと続けていくたらうれしいですね。私個人としては、環境生物科学科で勉強しているの



で、興味のある環境問題や生態系保全などに関わる仕事に就きたいと考えています。フレッシュマンキャンプで学んだ人とのつながりをつくることを、近い将来、仕事でも活かすことができれば、中部大学での学びは間違っていないかと自信を持って言えるはずです。

高橋 大学への要望になるので、クラブ運営委員は各クラブから人を出し合って運営して

おり、クラブ運営委員としての活動を真剣に取り組むほど、自分のクラブ活動に行く時間が確保できない学生が出てきてしまいます。クラブ運営委員の任期の1年間は活動から離れることが増え、そのようなブランクから失うものもあるはず。任された以上は最後までやり切りたい思いもあり、みんなで協力していくしかないことは分かっています。私たちが学生の

中だけで考えていてもなかなか良いアイデアが浮かびません。大学からも提案などがあるといのですが。

山下 それはとても良い発達状況にあると思います。課題意識を持ったことが一番の成長。

誰かに頼んで答えを出しても

らつても、本当に解決したことにはなりません。当事者が課題意識を持つことは非常に良いこと

とですから、その当事者間で答えを見つかることだと思います。

そういうことを学ぶのも大学なのです。高校ではつしかな

い答えを問題にしますが、大学では答えが一つということはありません。どんな答えがいいのかを、お互いに追究していく

プロセスが大切だと思ってい

ます。これからいくらでもそのような問題に直面することがあるはず

です。限られた時間の中で何をするか。足し算ばかりではなく、引き算をいかにするかです。全て足し算ばかりしていると、当然時間が足りなくなっ

てきます。引き算をするには勇気が必要ですが、限られた時間

の中で引き算をして何を捨てるのか大いに悩むことを大事にしてください。

高橋 引き算という発想がなかった

ので、皆で知恵を出し合

い、これから色々と考えてみ

たいと思います。ありがとうございます。

山田 開学当時は、愛知県出身の学生は全体の半分程度しか

いませんでした。できたばかりの大学で知名度がないこと

もあり、北海道から九州まで、当時の職員が学生募集のために全

国を駆け回っていました。現在

は知名度もあり、8割以上の学生が愛知県出身です。東海四県出身ともなると95%くらいになります。このことは良いこと

でもありますが、東海四県で育ってきた多くの学生は、高校、大

ここからの50年で 大学が創り上げて いくもの



中部大学常勤理事
山田 公夫 先生

学、就職と全て同じ地域で完結して

います。愛知県はあらゆる産業が発達し、求人

も多いという土地柄もあるかもしれませ

んが、もっと日本の各地域から学生が入学してくれ

ると良いと思っ

ています。そうすれば、学生同士の交流から

広い視野と日本の地域によって異なる文化や習慣、食

べ物などを知る機会などもあるはず

です。3割くらいは東海四県以外

の出身の学生にしていく

4年間にあるのです。これから

大学は、人が豊かな生涯を送るための知恵の袋として、

どれだけ上手に使われ、どれだけ上手に

変身していくかだと思っ

ています。大学は中部大学のキャンパス

だけではなくありません。私は常々「キャンパスは地球だ」と

言っています。地球上で使えるものは使う

のです。自分ひとりでは絶対不可能なことも、地球

上のあらゆるものを使い、世界中の全ての

人を先生として、生涯の学びをサポート

できる中部大学を創っていく

かと思っ

ています。大学で与えられるもの

だけでは、明るい未来は開けない

ので、明らかな未来は開けない

ので、そのような時代になっ



中部大学学生教育推進機構
副機構長(学生部長)
栗濱 忠司 先生

一人ひとりと向き合い、
生き方を支援

中部大学のキャリア支援

中部大学では、就職も教育の一環と考えています。入学から卒業までの4年間、

キャリア支援プログラムと教職員によるきめ細やかな指導を徹底して行っています。

その成果は数字にも現れており、2013年度は97.2%という高い就職率を達成しました。

どんな支援体制があるのか、その一部をダイジェストで紹介いたします。

学内企業説明会

企業様からメッセージ

毎年多数の企業が参加される学内企業説明会。年が明けて最初に実施する説明会は、就職活動の本格的なスタートを意味し、多くの学生に意識の変化が見られます。参加された企業の人事担当者の皆様に、学生に期待すること、就職活動に向けたアドバイスなどについて伺いました。

(株)スズケン

人材開発部 キャリア開発課 松尾様

お子様を信頼し、
就職活動を見守ってほしい。

学内での企業説明会は「こんな環境で育っているんだな」と学生さんのバックグラウンドを感じることができ、企業としても魅力を感じます。当社では自分自身の行動に責任を持てる、受け身ではない人材を求めています。社会人になれば自分で考え行動しなければならない場面が増えていきますので、困難なことがあっても自身の力で乗り越えられる強い意志のある方に入社してほしいと考えています。そのため、ご父母の方にはお子様の就職活動を応援しすぎず、自立を促すようなサポートをお願いしたいです。お子様を信頼して、見守っていただければと思います。

丸八証券(株)

総務人事部長 佐々木様

恵まれた環境を活かして
もっと積極的に発言を。

証券会社は入社後に学ぶことも多く、お客様の資産をお預かりする仕事ですから、説明会ではかなり厳しい仕事であることを伝えています。“それでも働きたい!”という意欲を持った学生が、昨今は少ないような気がします。学内企業説明会は一度に多くの企業の話の聞けるとも恵まれた機会ですので、このチャンスを活かして積極的に発言してほしいですね。また、学生の皆さんにはもっと新聞を読むことをお勧めします。新聞には就職活動に役立つヒントがたくさん詰まっています。ぜひご家庭でお子様へお勧めください。

(株)キタガワ工芸

経営企画室 水口様

お互いを知るために、
知りたいことは素直に質問を。

入社後のミスマッチをなくすことが企業にも学生にも大切です。だからこそ学生の皆さんにはマニュアル通りの回答ではなく、自分を素直に出してほしいと思っています。少人数で密な話ができる説明会ですから、どんどん質問してください。ミスをしてはいけないという気持ちが強いいためか、考え抜いて用意した質問のような気がします。弊社が求めているのは若い力と自主性、そしてコミュニケーション力や粘り強さです。就職活動は競争でもなく、勝ち抜くものでもありません。お互いを知ろうという気持ちで臨んでほしいですね。

キャリア形成支援プログラム (2014年度)

3年次

2015

2014

2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
第10回ガイダンス 学内企業説明会 事前ガイダンス			第5回ガイダンス 中部大学キャリアコンパス(企業リスト)から企業分析				第4回ガイダンス 業種・職種 ワークショップ	第3回ガイダンス 自己理解 ワークショップ		第1回ガイダンス オリエン テーション
			第7回ガイダンス 履歴書個別添削		第6回ガイダンス 採用試験対策 ガイダンス					第2回ガイダンス 適職・適性検査
		第8回ガイダンス 面接対策ワークショップ								
	第9回ガイダンス 模擬採用試験 (書類選考、筆記試験、面接試験)									

※開催時期については、変更が生じる場合があります。



参加した学生のコメント

男性

社風や会社の雰囲気はインターネットではなく、人事の方に直接聞くのがいいと思います。毎回、その日にどんな企業が参加するかがわかるので、事前に調べて質問できる点がいいですね。

今日は3社の企業に話を聞きましたが、参加する前に想像していた仕事内容と少し違うところもあり、直接確かめられてよかったです。また、社会人になるんだという実感もわいてきました。

男性

男性

商社勤めだった父の助言を受け、話を聞く企業を決めて参加しました。この説明会では、受け取った情報についての質問ができますし、不明点や疑問点に対してすぐに返答をもらえるのも魅力です。

志望業界が決まっているので、業界を絞って就職活動をしようと思っていました。なんとなく聞いてみようと思った企業の話聞いて、少し興味がわきました。ほかの業界の話も聞いてみようと思います。

女性

男性

学内企業説明会をきっかけに友だち同士で情報交換をするようになり、就職への意識も高まってきました。就職活動を始める時期も分かり、学内でこのような場を設けてもらえることはうれしいです。

中国語を活かせる仕事を探していましたが、参加企業の方々とお話を通して希望業種の幅を広げることができました。業種や企業にこだわらず、自分自身に合った就職先を見つけたいと思います。

女性

女性

地元の企業が多く、卒業生の方もいらっしゃる学内企業説明会は、他大学の学生も参加する合同企業説明会と比べて安心感がありました。企業の方との距離が近く、質問しやすいのが魅力です。

不二熱学工業(株)

管理本部 人事グループ 外瀬様

就職活動で大切なのは、 本音と強気と自分の意思。

就職活動における採用選考を、今までの受験や試験と同じ感覚で捉える必要はありません。筆記試験で落ちたとしても、“不合格イコール点数が悪い”といった感覚とは違うはずです。ほとんどの企業が最終的には面接で採用を決めますが、一生懸命努力したから採用されるものでもありません。運や縁みたくところがあると思って臨むくらいの方がちょうどいいのではないのでしょうか。学生の皆さんにとって就職活動は初めての経験ですが、本音で、そして少しくらい強気で、自分の意思をしっかりと持って臨んでください。

旭食品(株)近畿支社

管理本部 下村様

興味を持って話を聞く学生は 目の輝きが違います。

当社は食品卸売業ですが、学生は卸の実際をあまり知りません。そのため、卸売業とは何か、仕事内容や小売業との違いなど、業界について詳しく説明すると納得して聞いてくれます。会社説明のときは皆さんの目を見ながら話していますが、輝いている人、そうでない人の差はすぐ分かります。興味を持って聞いてくれている学生は、名前を控えて会社に報告したりしています。この機会に、業界を知り、事業内容を理解して、旭食品(株)はどんな会社なのだろうと興味を持って深掘りしてもらえればうれしいですね。

理科研(株)

総務部 総務課 従二様

本日は質疑応答を重視。 率直な疑問・質問、歓迎です。

当社はバイオ関連の総合商社です。研究用の試薬や機器を販売しています。ニッチな分野のため、学生に広く認知されていませんので、今日の説明会では質疑応答を重要視しています。つまり、説明を聞いて感じたこと、疑問に思ったことは率直に聞いてほしいのです。仕事内容だけでなく、「仕事は辛くないですか?」「一番感動したことは何ですか?」などでも大歓迎。そのような質問に答えるためにも、今日は営業担当が同席しています。採用側の私たちが、学生の皆さんはこんなことを知りたかったんだと思える質問をお待ちしています。

4年次

1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
										求人情報開示
学内企業説明会 約200社			学内企業説明会 約200社		採用試験開始	学内企業説明会 約200社		学内企業説明会 約400社		学内企業説明会 約800社

中部大学では、卒業生全員が就職内定を獲得できるようサポートしています。不明な点や相談があれば、キャリア支援課を活用するようにお伝えください。また、複数企業から内定を得た場合もキャリア支援課へご相談ください。

仕事への理解を深める

インターンシップ

インターンシップは、将来のキャリアを意識した実習・研修を実際の企業等で体験する制度です。本学では、学部3年生・大学院修士1年生を中心に、おこない、ほとんどの学部学科で正課の科目として単位が認定されています。職業観や就労意識、また卒業研究への意識を高める有効な手段として、大いに活用していただいています。

■2014年度主なインターンシップ先

デリカ食品工業(株) 名古屋衛生研究所 (株)名古屋東急ホテル リゾートトラスト(株) なごや農業協同組合 トヨタカラー名古屋(株) (株)両口屋是清	日東工業(株) 名鉄観光サービス(株) (株)松坂屋 丸善(株) 野村證券(株) (株)大林組 リンナイ(株)	高砂熟学工業(株)名古屋支店 春日井市役所 小牧商工会議所 (株)佐藤農園 清水建設(株) 東春信用金庫 (株)名古屋観光ホテル
---	---	--



〈インターンシップA〉

社会人として必要な基礎的知識やビジネスマナーを学びます。



〈インターンシップB〉

企業や官公庁等で実際に研修を受け、就業意欲の向上を目指します。

早目の対策が大切です

筆記対策

WEB講座(無料)

多くの企業では、よりよい人材を採用するための選抜方法として、まず筆記試験である程度人数を絞り込む方法をとっています。特に、大手人気企業になればなるほど膨大な応募者への対応から、その傾向は強くなっています。「筆記対策WEB講座(インターネットによる独学)」では、企業の筆記試験で使われる割合が多いた「SPI2・一般常識」の実力向上を目指し、中部大生用に作成しました。練習問題を繰り返し活用することで「実力」と「自信」をつけていくことが大切です。インターネットによる学習ですら、自宅からいつでも何度でも受講できます。



幸友会就職ナビ

中部大学の学生のための就職サイト「幸友会就職ナビ」は、中部大生と幸友会企業を結ぶネットワーク。企業の概要等を確認後、そのままエントリーできます。



企業ガイド

中部大学と幸友会会員企業との太い絆で結ばれた心強い中部大生のための情報誌。在学生には、就職活動時の企業研究をはじめ、大いに活用してほしい一冊です。



携帯に便利な
B6サイズ!

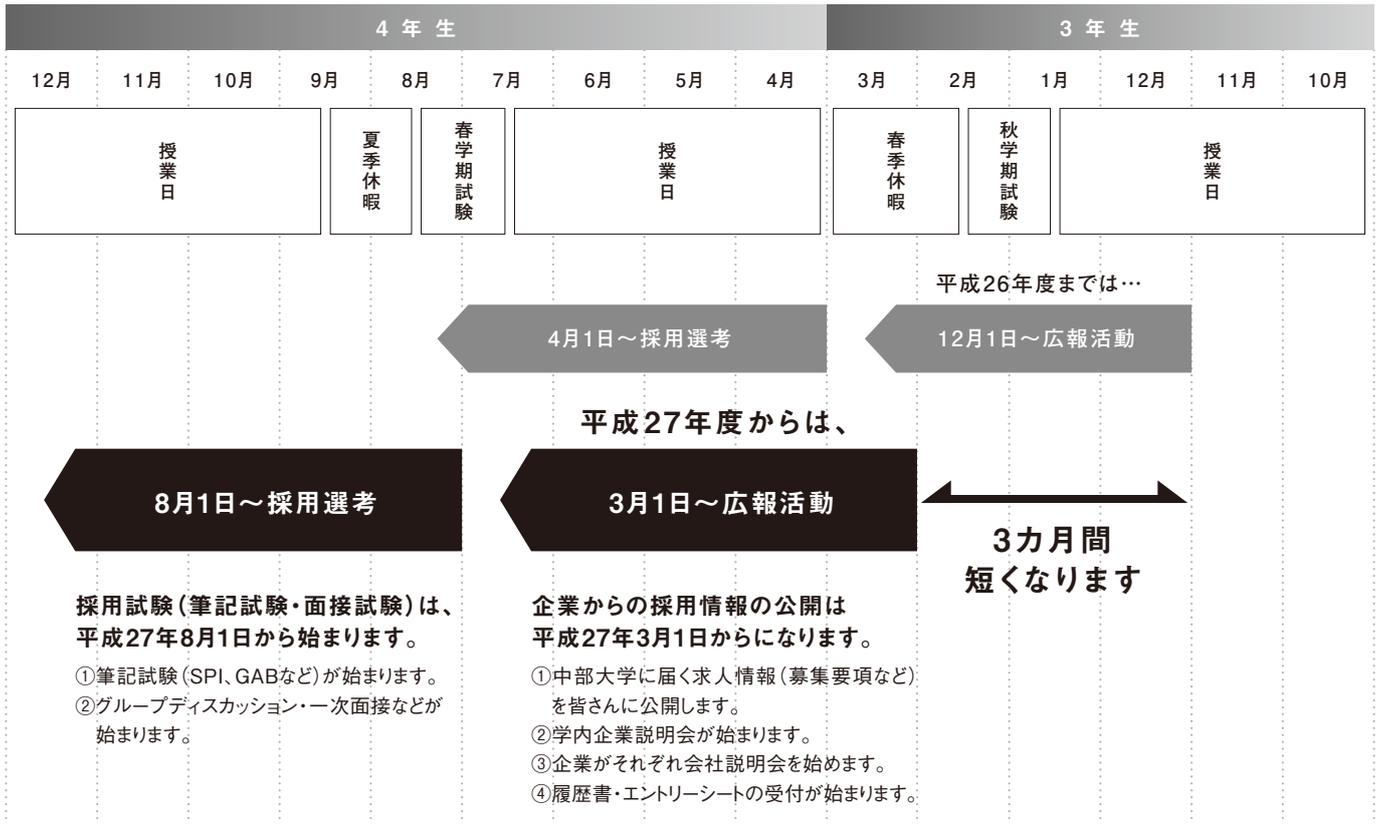
太い絆で結ばれた心強い存在

中部大学幸友会

さまざまな分野の企業による後援組織「中部大学幸友会」の存在は、学生にとって心強い味方です。法人数は約730社を数え、「学内企業説明会」にもたくさんの会員企業にご参加いただいています。2013年度は、162社に255人が幸友会企業へ就職し、卒業生全体の15%を占めました。

就職活動をする期間が短くなります！

来年度(平成27年度)の就職・採用活動スケジュールは、以下の通りです。



4年生になるまでに準備しておくべきことは…

春休み(3月)までに以下のことを準備するようにお伝えください。

- ①自分の特徴を知り、自分のことを他者に伝えられるようになる。(自己理解)
- ②中部大生を採用したいと考えているさまざまな企業から、目指す企業のリストを作る。(業種・職種・企業研究)
- ③筆記試験の対策として、高校までに学んだことを復習しておく。(筆記試験対策)
- ④履歴書の書き方と、面接試験の練習をする。(就職試験対策)

人文学部

愛知環状鉄道(株)／愛知トヨタ自動車(株)／いちい信用金庫／貝印(株)／(株)カインズ／蒲郡信用金庫／(株)クリーク・アンド・リバー社／(株)三交クリエティブ・ライフ／サンメッセ(株)／JA静岡経済連／(株)進和／第一生命保険(株)／ダイナパック(株)／高雄工業(株)／知多市役所／東春信用金庫／東陽倉庫(株)／中北薬品(株)／日本食研ホールディングス(株)／日本郵便(株)／(株)パロー／藤久(株)／フジパングループ本社(株)／(株)マックス・シントー／三重県警察本部／めぐみの農業協同組合(JAめぐみの)／リゾートトラスト(株)／渡辺パイプ(株)

応用生物学部

あいち豊田農業協同組合(JAあいち豊田)／天野エンザイム(株)／井村屋グループ(株)／(株)カナエフーズ／(株)かね貞／カネ美食品(株)／協和医科器械(株)／(株)グルメ村屋／(株)コメリ／(株)シーボン／有限会社春華堂／スガキシステムズ(株)／(株)スギ薬局(スギ薬局グループ)／瀬戸信用金庫／(株)大光／(株)中京医薬品／中部薬品(株)／常滑市役所／名古屋市役所／名古屋製酪(株)／(株)スジャータ／西三河農業協同組合／日本ゼネラルフード(株)／(株)パロー／フジパングループ本社(株)／フーズ(株)／藤吉工業(株)／(株)ミノヤランチサービス／山崎製パン(株)／理科研(株)

生命健康科学部

あいち小児保健医療総合センター／愛知県心身障害者コロニー／天野実業(株)／伊勢久(株)／大阪大学医学部附属病院／(株)オールリバー／(株)カーク／春日井市民病院／刈谷豊田総合病院／岐阜大学医学部附属病院／京都大学医学部附属病院／江南厚生病院／(株)江東微生物研究所／(株)コスモス薬品／小牧市民病院／東海記念病院／中北薬品(株)／名古屋市立大学病院／名古屋セントラル病院／名古屋大学医学部附属病院／名古屋製酪(株)／(株)スジャータ／日本ステリ(株)／フクダ電子(株)／(株)マックス・シントー／三重大学医学部附属病院／(株)メディック／(株)八神製作所／理科研(株)／(株)和光ケミカル

現代教育学部

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・神奈川県 公立小学校／公立／私立の幼稚園、保育園／愛知県警察本部／愛知日産自動車(株)／岐阜県庁／スギムラ化学工業(株)／タック(株)／タマホーム(株)／知多信用金庫／トヨタカラー中京(株)／(株)中広／(株)ナルミヤ・インターナショナル／(株)光通信／(株)平安閣／(株)フィールコーポレーション／(株)ベシア／北陸電力(株)／(株)丸越／(株)トカーケフ

2013年度(2014年3月)卒業生の主な就職先

工学部

アイシン高丘(株)／愛知県警察本部／愛知時計電機(株)／天野エンザイム(株)／NDS(株)／(株)NTTファシリティーズ東海／(株)NTTフィールドテック／春日井市役所／近畿日本鉄道(株)／シーキューブ(株)／JR東海／清水建設(株)／積水ハウス(株)／(株)関電工／大同特殊鋼(株)／大和ハウス工業(株)／(株)デンソー／東亜合成(株)／(株)トーエネック／東明工業(株)／戸田建設(株)／日本空調サービス(株)／日本郵便(株)／(株)パロー／(株)光通信／三重県庁／ヤンマー(株)／ユニチカ(株)／リンナイ(株)

経営情報学部

旭情報サービス(株)／ALSOK総合警備保障(株)／各務原市消防本部／春日井市役所／カネ美食品(株)／岐阜トヨタ自動車(株)／(株)コメリ／三甲(株)／サンメッセ(株)／ジャパンビレージグループ／(株)スズケン／(株)スギ薬局(スギ薬局グループ)／セキスイハイム東海(株)／積和不動産中部(株)／(株)第三銀行／大東建託(株)／名古屋市消防局／名古屋鉄道(株)／日本食研ホールディングス(株)／日本郵便(株)／(株)パロー／(株)光通信／星野リゾートグループ／めぐみの農業協同組合(JAめぐみの)／渡辺パイプ(株)

国際関係学部

愛知県警察本部／ALSOK総合警備保障(株)／(株)エディオンコミュニケーションズ／木野瀬印刷(株)／ぎふ農業協同組合／(株)キャメル珈琲／(株)サイゼリヤ／三甲(株)／(株)シティーズ／(株)スタジオアリス／セーレン(株)／中電興業(株)／(株)ティア／(株)トーション／(株)名古屋東急ホテル／名古屋トベット(株)／(株)ナ・デックス／日本生命保険相互会社／福山通運(株)／(株)ベルソニカ／三島函南農業協同組合／ユニー(株)／(株)吉村

内定 & 進路決定までの軌跡

OB's Voice 01

【就職先】
ホシザキ東海株式会社



たけうち ひろし
竹内 宏さん
応用生物学部 食品栄養科学科
2014年3月卒業

就職活動開始時期…… 3年次の12月頃
就職活動終了時期…… 4年次の9月頃
エントリー社数…… 6社
受験社数…… 3社
内定獲得社数…… 2社

納得できる企業に結び付けてくれた キャリアセンターとゼミの存在。

専攻が食品ということから、業界を食品関連に絞って就職活動を始めました。5月に1社内々定を獲得しましたが、まだ納得できず活動を継続。キャリアセンターへ相談し、いくつかの企業を紹介してもらい、その内の一つがホシザキ東海でした。飲食系のアルバイトをしていましたので、当社の設備には馴染みがありました。しかし、食品や衛生についての学びを、このような方面でも生かされると気付かせてくれたのはキャリアセンターのおかげです。また、面接に不安がありました。

センターのスタッフからの声掛けで自信が生まれ、精神面でも支えていただきました。さらに私にとっては、ゼミが就職活動に前向きに取り組む上では不可欠でした。“ゼミは小さな社会”と言われ、報告・連絡の大切さや社会人としての心構えを教えていただきました。ときには、ゼミへ顔を出してから面接へ行くことでモチベーションを維持。私の場合、キャリアセンターやゼミの存在が、内定に結び付いたと言っても過言ではありません。

シューカツ中に親へ望むことは？

1社内定を得ていたことで安心していただけ、親からあまり口を出されることはありませんでした。ただ、細かく言われると自信をなくし、モチベーションも下がってしまうもの。就職活動をしていなくて厳しく言われるのはわかりますが、活動しているときはある程度見守ってほしいと思います。

OB's Voice 02

【就職先】
小牧市民病院



いわた あきひろ
岩田 晃裕さん
生命健康科学部 生命医科学科
2013年3月卒業

就職活動開始時期…… 4年次の6月頃
就職活動終了時期…… 4年次の8月末
エントリー社数…… 1社
受験社数…… 1社
内定獲得社数…… 1社

希望しているだけでは見つからない、 自分が本当に活躍できる場所。

私の学科では、臨床検査技師の国家資格取得を目指して勉強に取り組んでいるため、就職活動開始時期は遅く、国家資格試験の受験資格が確定する3年次の3月末からがスタートです。就職先として志望する病院や医療機関があるのであれば、見学や実習などで必ず病院内を見ておくことをお勧めします。病院によっては、自分が取り組みたいと考えている臨床検査を院内で実施していない場合がありますからです。採用試験に臨むにあたっては、大学で保管している先輩たちの過去の

受験情報を調べ、先生から教わった出題傾向に沿って集中的に勉強したことが内定につながりました。しかし、4年次の2月中旬に実施される国家資格試験に合格しないことには臨床検査技師として働けないため、内定を獲得したからといって喜んでばかりはいられません。最終的に私が国家資格試験に合格できたのは、他大学に比べて早くから試験勉強を始める中部大学の指導方針と、しっかりと勉強してきた自信によるものだと実感しています。

シューカツ中に親へ望むことは？

あまり口うるさく言われると誰でも嫌になり、言われるほど余計にやらなくなってしまうものです。親から必要最低限のことだけを伝えてもらえれば、それだけは頭の片隅に入れて取り組もうと思うものです。そのようにしてもらえると、就職活動でも親からのプレッシャーやストレスを感じることなく、気楽に臨むことができます。

将来や進路について真剣に考え、行動に移していく学生生活の後半戦。

自らの目標に近づくために、早めに考え方を整理したり、

迷ったときに相談に乗ってもらったり、積極的に就職支援を活用したり…。

さまざまな方法によって新しい道を歩み始めた先輩たちに、内定&合格までの道のりを語っていただきました。

就職活動を始めた当初は I T 関連企業だけを志望していましたが、キャリアセンターの職員の方からの勧めで医薬品卸売業の社内 I T 部門を知り、自分自身で興味を持ち企業研究をした結果、入社への道を切り開くことができました。キャリアセンターに相談したことで、自分には無い視点から私が望んでいた幅広い知識が得られる就職先を見つけることができたと思います。また、大学では学部を越えて授業を受けられるので、学部の異なる先生方にも積極的に就職相談

をして複数の視点から意見をいただきました。そのような意見を受け入れて実行するだけでなく、採用選考で何がいけなかったのかを振り返り、失敗を糧にしたことが内定につながったと思います。就職活動では自己分析が重要です。採用選考は厳しいですから、自己分析ができていないと面接で苦労することになります。自己分析に重点を置き、自分のアピールポイントを明確にしておく和良好的就職支援を積極的に活用するべきです。

大学の就職支援を活かすのは自分次第。積極的な行動が、多くの協力者を生む。

OB's Voice 03

[就職先]

株式会社スズケン



いしかわ じゆんき
石川 順貴さん
経営情報学部 経営情報学科
2014年3月卒業

就職活動開始時期…… 3年次の12月
就職活動終了時期…… 4年次の10月末
エントリー社数…… 15社
受験社数…… 10社
内定獲得社数…… 1社

シューカツ中に親へ望むことは？

就職活動開始と同時に、あれこれ意見を言われると混乱してしまいます。親として伝えたいことがあれば、就職活動前に話してもらえると助かります。また、企業説明会への参加や採用試験に臨むことだけでなく、立ち止まって振り返る期間も就職活動ですから、少し休ませてあげることも大切だと思います。

大学院への進学を決めたのは、高校3年生のとき。各大学のオープンキャンパスに参加したところ、理系学生の多くが大学院へ進学している状況を知ったことや、社に出て働く前に専門性を深めた方が良いと感じたからです。大学院を選択する上で大切なことは、進学の先の研究室の研究内容が自分の取り組みたい研究に合っていること。中部大学大学院であれば、教授陣とその研究内容について学部時代から知っていることもあり、研究にギャップを感じることがなかったことから進

早い時期からの進学意識が、目標までの道のりを助けてくれる。

OB's Voice 04

[進学先]

中部大学大学院
工学研究科 情報工学専攻



こんどう ゆうき
近藤 勇気さん
工学部 情報工学科
2014年3月卒業

研究テーマ
自発的な安全運転支援システムの開発・評価

研究内容
自動車ドライバーが事故を起こさないよう、自発的に運転を継続できるシステムを開発し、評価する

学生が望む、親との理想的な関係は？

本人の意志をよく理解してくれることが大切だと思います。目的が明確で本気であれば、あまり干渉せず応援してくれると励みになります。いけない事に対しては、はっきりダメだと指摘してくれることも時には必要ですが、あまり口出しをせず、自由にやらせてくれると非常にありがたいです。



CLOSE UP

クラブ&サークル

学年と学部学科の異なる学生たちが一つにまとまり、興味のあることに夢中になって取り組むクラブ・サークル活動。ここでは、5つのクラブ&サークルを紹介するとともに、部員の方々にそれぞれの活動や魅力などについて語っていただきました。



年に一度、優秀な成績をおさめたり、努力したクラブや個人に対して、学長が表彰を行う「クラブ活動表彰授賞式」を実施しています。平成25年度は、優秀賞、奨励賞、努力賞、功労賞あわせて合計8団体と個人31名が表彰されました。





ハンドボール部

日本一は、決して遠くない目標。選手として、人として、成長しながら、「make the most now 今を大切に」をスローガンに掲げ、目の前の勝利をつかんでゆく。



〈主将〉
みやた かずき
宮田 一輝さん(中央)
工学部 電気システム工学科4年
〈副主将〉
ふくだ たけし
福田 丈さん(右)
経営情報学部 経営情報学科4年
〈副主将〉
のむら たいち
野村 太一さん(左)
生命健康科学部
スポーツ保健医療学科4年

通用する選手を育てていく先生のビジョンによるものです。高校生の全国大会や地方大会などで蒲生先生の目に留まり、声を掛けられて入学してきた部員も少なくありません。素晴らしい指導者の下、仲間とともに練習に打ち込めるのが一番の魅力です。また、韓国遠征による国際試合でしか体感できない経験は、他大学ではなかなかできないことです。

部活を通して、あてになる人間へ。

「人として当たり前のことを当たり前にしよう」の方針の下、学生らしく勉強を疎かにしない文武両道に徹しています。また、社会に出て役立つ人材となれるよう、ホウレンソウ(報告・連絡・相談)を重視した指導により、周囲の友人に比べ、社会人としてのマナーや振舞いができていると実感することが多くなりました。人として大きく成長したと思います。チームのまとめ役として、後輩たちを抑えつけず、意見を聞き出して受け入れるように心掛けています。間違ったことをしていれば叱ることもありますが、相手が納得していないようであれば他の部員が論ずこともあります。今後も部員全員で助け合いながらチームをまとめていきたいです。

日本一を着実に狙う。

東海地区の大学ハンドボール部の中で一番の部員数を誇る私たちは、マネージャーを含めた約50名で毎日練習に励んでいます。34年連続、35回のインカレ出場の実績があり、今年は7年振りとなる東海学生ハンドボール春季リーグ優勝を果たしました。目標は日本一ですが、まずは目の前の大会を勝ち進むことに専念したいと考えています。ハンドボールは「走る・投げる・飛ぶ」の運動要素を組み合わせたスポーツ。7人でプレーを続け、ベンチ入りしている選手であれば交代は何度でもできます。身体を使った駆け引きやスピーディーな試合展開は迫力があり、見ていても面白いので、他の学生にも試合を見てほしいと思っています。

世界を意識する貴重な経験。

ハンドボール界では知らない人はいない名選手として知られ、オリンピック選手として出場、全日本監督でもあった蒲生晴明先生。チームに185cm以上の大きな選手が多いのも、世界に

蒲生晴明先生のハンドボール界での功績を称えるトロフィーや表彰状、貴重な資料などで埋めつくされている研究室。



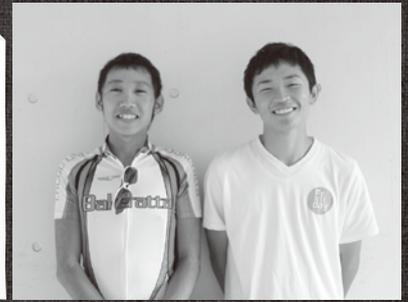
サイクリング部

部員数 24名

全力で取り組んだ分だけ、
全力で応えてくれる仲間がいる。

〈部長〉
さわい たくや
澤居 拓哉さん(左)
応用生物学部 応用生物化学科3年

〈企画〉
かねまつ さとる
兼松 悟さん(右)
応用生物学部 応用生物化学科2年



40年の歴史があるサイクリング部では、週1回のミーティングと月1回のラン、春・夏合宿を中心に活動しています。合宿では遠方に出かけ、サイクリングしながらその土地特有の地形や気候、景色などを楽しんでいます。自転車と旅が好きなお人にとっては非常に魅力的な部です。一括りに自転車といっても種類はさまざま、ロードバイクやマウンテンバイクなどのレース競技に出場する部員もいます。自転車の知識がなくても、先輩たちが丁寧に教えてくれるだけでなく、走行ルートを必ず大学に提出し、万一の事故やケガなどの安全管理にも細心の注意を払っているので安心です。間違っただけをすれば、先輩が指摘してくれる環境があり、自身を冷静に見つめ直すことができるため、社会に出る前に必要な言葉遣いや態度が自ずと身につけられます。歴代の諸先輩たちから受け継いできた何事にも全力で楽しく取り組んでいける雰囲気を、次の代へと引き継いでいきたいと考えています。



少林寺拳法部

部員数 42名

少林寺拳法を通して心身ともに鍛え、
人として大きく成長する。

〈主将〉
さかた たかひさ
坂田 貴久さん(中央)
応用生物学部 応用生物化学科4年

〈昇格〉
はらだ しんご
原田 晋伍さん(右)
人文学部 英語英米文化学科4年

つじの はるき
辻野 晴樹さん(左)
経営情報学部 経営学科2年



少林寺拳法は人間性の育成を目的に創始された武道。そのようなこともあり、活動開始前と終了後には道場の掃除を必ず行い、定期的な学内のゴミ拾いも実施しています。部員の多くは大学から始めた未経験者。元々、少林寺拳法は護身術であり、身体の小さな女性でもできることから、現在8名の女子部員が活躍しています。創部約50年の歴史があり、厳格なイメージを持ってしまっていますが、私たちほどのアットホームな少林寺拳法部は他大学を探してもなかなかありません。また、遊びやゲームの要素を練習に取り入れることで、部員全員が楽しく取り組めるように心掛けています。最近では、大会で入賞する部員も出てきました。しっかり集中すべき時と、そうでない時のメリハリをつけた練習の結果です。私たちも実感していますが、他大学からレベルが上がったと言われるまでになりました。今後は部員全員のレベルを高めていき、大会で複数入賞を果たして総合優勝を狙っていきたいと思います。

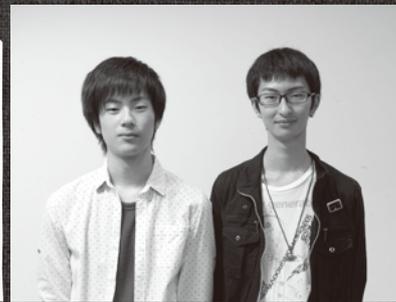


管弦楽団

部員数 38名

重ね合うことで生まれる音の厚み。
それがオーケストラの魅力。

〈団長〉
すぎもと あきら
杉本 旭さん(右)
工学部 電子情報工学科3年
〈コンサートマスター/備品・運搬〉
すぎやま けい
杉山 圭伊さん(左)
工学部 電子情報工学科2年



私たち管弦楽団が特に力を入れている活動は、毎年夏から秋にかけて開催する定期演奏会です。オーケストラを編成するためには約70名の人数が必要ですが、実際の団員数は30名ほど。そのため、演奏会には卒業生の方々にもご参加いただいております。その技術を間近で見る団員たちの刺激にもなっています。オーケストラと聞くと難しそうな印象を持たれるかもしれませんが、先輩たちが気さくに教えてくれるので音楽が好きな気持ちがあれば未経験でも問題はありません。また、年に4回実施する合宿ではアンサンブルを組んで発表する機会があり、普段とは異なる環境で上達していく楽しさを感じることができます。さまざまな個性をまとめる大変さがありますが、多くの人の協力があるから団体が成り立っていると実感できるようになりました。オーケストラの魅力は、複数の楽器から奏でられる「音の厚み」。技術の向上だけでなく、団員たちと協力しながら楽しく活動できる環境をつくっていきたいです。



天文研究会

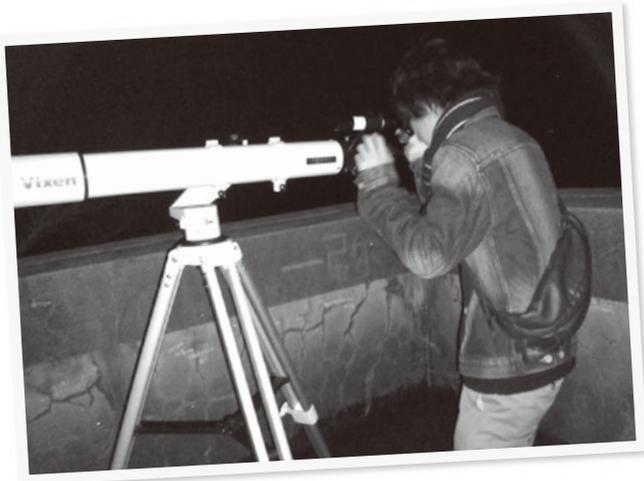
部員数 75名

情報、機材、そして感動の共有。
星の魅力を仲間とともに分かち合う。

〈部長〉
ふくやま りょうたろう
福山 良太郎さん(中央)
応用生物学部 応用生物化学科3年
〈副部長〉
ながた たくみ
永田 卓巳さん(左)
応用生物学部 応用生物化学科2年
〈合宿責任者〉
くりま しおり
来間 栞さん(右)
応用生物学部 応用生物化学科3年



私たちがほかのクラブと明らかに違う点は、日が沈んでからの活動がメインだということ。活動日には、星の知識や望遠鏡の使い方、星に関するイベントや天体ショーの日程を教え合い、暗くなってから星を観測しています。先日は名古屋市科学館のプラネタリウムへも行きました。次の大きな行事は福井への夏合宿ですが、やはり綺麗に見えるのは冬。ただ新月を狙い、光が少ない田舎で見ただけでもかなり違います。今見ている星の光は昔のものと言われるように、中には恐竜が生きていた時代に発せられたものも…そう思うだけで壮大さを感じます。また、仲間と見ることで情報が共有できることはもちろん、感動も分かち合っています。望遠鏡は高価ですから、クラブに入ることによって機材を共有できるのもメリットです。部の活動以外でも各自で星の観測や撮影をしています。今後は、活動の記録を残していくことを考えています。星好きが集まった仲間同士、もっと星の魅力を伝え合いたいと思っています。



中部大学では、学生みんなの「何かやってみたい」という気持ちを後押しするために、誰でも参加できるチャレンジプログラム「Let's CHALLENGE」を用意しています。新たなことに挑戦し、さまざまな人に出会うことで、視野も広がるはずです。

学生生活を満喫できるプログラム

Let's CHALLENGE

発見する

Pick Up ウプト学生編集委員

「ウプト」とは、年に4回発行される在学生向けの広報誌です。学生編集委員になると、毎号、企画の立案・取材・撮影・原稿作成に関わることができます。学部、学科、学年は問いません。



各種
プログラム

- フレッシュマンキャンプ
- ウプト学生編集委員
- 自分探しグループ
- アルコール・パッチテスト
- 留学フェア
- 学生選書ツアー

楽しむ

Pick Up スキーキャンプ

技術レベルに合わせたグループ別の講習のため、初心者から上級者まで参加可能。現地のインストラクターに教わり、確実にスキー技術を向上させるチャンスです。参加申込受付は10月です。



各種
プログラム

- 中部大学祭※スタンプ対象外
- 中部大学音楽祭
- 成人を祝う会
- スキーキャンプ
- D.I.テーブル
- ひとり暮らし入門
- キャンパスコンサート

磨く

Pick Up 国際交流ピア・サポート

留学生と友だちになって、さまざまなサポート活動を企画・実施する国際ボランティアグループです。歓迎会、キャンパスツアー、名古屋市内見学など、多くのイベントをおこなっています。



各種
プログラム

- 公務員試験対策講座
- 資格取得対策講座
- 卒論・レポート作成講習会
- 文献検索データベース講習会
- 学習支援室
- 国際交流ピア・サポート
- カンパセーション・パートナー
- 太極拳講習会

スタンプを集めて
図書カードGET!

めざせ!5つ星



「Let's CHALLENGE」に掲載された課外活動に5つ以上参加した学生の皆さんには、3,000円分の図書カードがもらえる「めざせ!5つ星」企画も行っています。ぜひ参加をおすすめください。



協力する

Pick Up C.U.P. (クリーンアッププロジェクト)

「中部大学をもっと美しくしよう」と立ち上げられたプロジェクト。学内を清掃するイベント「清掃キャンペーン」を年に2~3回実施し、学生・教職員合わせて毎回200~300人が参加しています。



各種
プログラム

- ボランティア・NPOセンター (ACTA)
- C.U.P. (クリーンアッププロジェクト)
- 初年次ピアサポーター
- キャリアメッセンジャー

挑む

Pick Up Night Walk

春日井キャンパスから中部大学研修センターまでの42km余を仲間と徹夜で歩くウォークイベント。歩き続ければ必ずゴールは見えてくる。そんな確信と感動を全員が共有できるつらくて楽しい行事です。



各種
プログラム

- 全学学科対抗スポーツ大会
- Night Walk
- 8時間自転車耐久レース
- チャレンジ・サイト
- バドミントン大会

学科 & ゼミ紹介

工学部に新たにロボット理工学科を加え、2014年4月から7学部30学科体制になった中部大学。

ここでは各学科の概要と、保護者の皆さまも気になる「取得が期待される資格」をダイジェストで紹介。

あわせて1学部につき1つのゼミをピックアップしました。

工学部



Pick Upゼミ

建築学科 中村 研一ゼミ

研究テーマ

建築デザインと アーバンデザインに関する研究

建築のデザインが、都市に対してどう影響を及ぼすのかを研究しています。建築家たちの思想や都市の歴史、原状の調査を通し、建築や都市の未来を考えていきます。

建築学科

建築学の技術と理論を学び、建築デザインの感性を磨く—経験主義が実践力を高めます。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 商業施設士補
- 技術士補（卒業後申請により取得）
- 一級建築士（2年以上）
- 二級建築士
- 一級管工事施工管理技士（3年以上）
- 二級管工事施工管理技士（1年以上）
- 一級建設機械施工技士（3年以上） など

応用化学科

素材革命、環境保全、機能性物質の開発…。21世紀の課題を解く鍵「応用化学」の基礎から先端分野までを学びます。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「理科」
- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 技術士補
- （スペシャリスト・コース修了生は申請により取得可）
- 毒物劇物取扱責任者
- 作業環境測定士（1年以上）
- 甲種危険物取扱者 など

情報工学科

情報工学の基盤を身につけ、実践力と応用力、創造性に満ちた情報技術・情報工学のプロを育てます。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「情報」
- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- ITパスポート
- 基本情報技術者
- 応用情報技術者
- プロジェクトマネージャ
- システムアーキテクト
- 情報セキュリティスペシャリスト など

ロボット理工学科

2014年度開設

実践的な工学技術を網羅的に学び、ロボット共存社会を実現できる質の高いロボットエンジニアを育てます。

【取得が期待される資格】

- ITパスポート
- 基本情報技術者
- 応用情報技術者
- プロジェクトマネージャ
- システムアーキテクト
- 情報セキュリティスペシャリスト
- ITストラテジスト
- データベーススペシャリスト など

機械工学科

あらゆる産業で活躍する機械技術者。実践教育を通じて、「幅広さ」と「奥深さ」を両立する人材を育成します。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 特級ボイラー技士（2年以上）
- 一級ボイラー技士（1年以上）
- 一級管工事施工管理技士（3年以上）
- 二級管工事施工管理技士（1年以上）
- 一級建設機械施工技士（3年以上）
- 二級建設機械施工技士（1年以上）
- 一級電気工事施工管理技士（3年以上） など

電気システム工学科

電気エネルギーを発生させる技術、利用する技術をシステムとして学び、対応力の高い実践的な技術者をめざします。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 第一種電気主任技術者（5年以上）
- 第二種電気主任技術者（3年以上）
- 第三種電気主任技術者（1年以上）
- 第二種電気工事士（筆記試験免除）
- 一級管工事施工管理技士（3年以上）
- 二級管工事施工管理技士（1年以上）
- 一級建設機械施工技士（3年以上） など

電子情報工学科

社会の基盤を支える通信、電子デバイス、コンピュータ情報処理…エレクトロニクス技術分野を活用・開拓する実践的な能力を身につけます。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「情報」
- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 第一級陸上特殊無線技士
- 第三級海上特殊無線技士
- 応用情報技術者
- 基本情報技術者

都市建設工学科

都市建設（まちづくり）のプロになるための確実な知識・技術と柔軟なデザイン能力を、実践教育を通じて習得します。

【取得が期待される資格】

- 高等学校教諭一種免許状「工業」
- 測量士補
- 測量士（1年以上）
- 技術士補
- （アドバンスドコース修了生は申請により取得可）
- 一級土木施工管理技士（3年）
- 一級管工事施工管理技士（3年）
- 一級造園施工管理技士（3年）
- 一級建築施工管理技士（3年） など

経営情報学部

Pick Upゼミ

経営情報学科 趙偉ゼミ



研究テーマ

アントレプレナーシップ育成に関する研究

私たちは企業経営の基礎とアントレプレナーシップについて学習しています。その方法として、学生主体でビジネスプランを考え、バーチャルカンパニーを創設します。社会実践活動を通じて、社会人として必要な協調性を高めます。

経営情報学科

情報科学を中心に、企業経営に関わる経済・経営・法律・会計などのさまざまな分野を学習し、社会に貢献できる人材を育成します。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「情報」
- ITパスポート
- 基本情報技術者
- 販売士2級
- 日商簿記検定1級・2級
- 税理士
- 公認会計士

経営学科

経営、経済、法律、簿記、会計、コンピュータ…。ビジネスに役立つ実務能力を身につけ、自分の価値を高めます。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「商業」
- 販売士2級
- ITパスポート
- 日商簿記検定1級・2級
- 中小企業診断士
- ビジネス実務法務検定
- 税理士
- 公認会計士

経営会計学科

会計学を中心とした5分野(会計学・経営・情報・経済・法律)を学び、経営のわかる会計専門職や、会計に強いビジネスパーソンをめざします。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「商業」
- 日商簿記検定1級・2級
- 税理士
- 公認会計士
- 販売士2級
- ITパスポート
- 中小企業診断士
- 国税専門官

インターンシップで就職意識を高めます。

経営情報学部では、在学中に就業体験をする「インターンシップ」を積極的にサポート。3年次の夏休みを利用し、企業で実務や研修を実際に経験。単位も与えられます。20社以上の受け入れ企業を開拓し、毎年多くの3年生が参加しています。

国際関係学部

Pick Upゼミ

中国語中国関係学科 大澤肇ゼミ



研究テーマ

国際関係・民族・サブカルチャー等から見る現代中国

ゼミでは、「外」との交流を大事にしており、昨年春には南山大学との合同ゼミ、夏には台湾師範大学との交流会を含めた台湾フィールドワークを実施し、台北に行き中国語で発表・討論を行いました。

国際関係学科

専門的英語力、国際社会の分析力(政治・経済・開発協力)、グローバルな交渉力・行動力を身につけ、「国際的にあてになる人間」としてのキャリアを形成します。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「公民」
- 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」
- *日本語教員
- 英語関連諸資格

国際文化学科

「英語プラス1」を目標に、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語を学び、他の地域言語(トルコ語、古代エジプト語など)に触れるチャンスがあります。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「公民」
- 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」
- 学芸員
- *日本語教員
- 英語関連諸資格

中国語中国関係学科

現地での体験を重視しながら使える中国語を身につけ、世界の動きの中で中国をとらえます。

[取得が期待される資格]

- 高等学校教諭一種免許状「中国語」
- 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」
- *日本語教員

世界遺産検定の受験を勧めています。

国際文化学科では数年前より学生に世界遺産検定の受験を勧めており、「世界遺産を学ぶ」という専門科目を開講。また検定試験に備えて、国際関係学部セミナー「世界遺産検定にチャレンジしよう」を開催しました。中には検定1級に認定された学生もいます。

人文学部

Pick Upゼミ

歴史地理学科 一谷 和郎ゼミ



研究テーマ 東洋史/東アジア地域研究

ゼミ生は皆仲良く、何でも言い合えます。年に一度のゼミ旅行では研究を進めるとともに親睦も深まり、めりはりのついた楽しいゼミです。先生はゼミ生の研究や就職活動など何事にも真剣に考えてくださる頼りになる存在です。

心理学科

心理学の基礎から応用まで幅広く、深く追究。複雑な現代社会で人間を深く理解し、力強く生き抜く人材を育成します。

- [取得が期待される資格]
- 中学校教諭一種免許状「社会」
 - 高等学校教諭一種免許状「公民」
 - 認定心理士

日本語日本文化学科

「世界の中の日本」という視野に立ち、日本語と日本文化を深く探究。世界へ日本の情報を発信できる人材を育てます。

- [取得が期待される資格]
- 中学校教諭一種免許状「国語」
 - 高等学校教諭一種免許状「国語」
 - 学芸員
 - *日本語教員

歴史地理学科

歴史的センス、地理的センスをともに磨き、現代社会で活躍するための「知のツール」を手に入れます。

- [取得が期待される資格]
- 中学校教諭一種免許状「社会」
 - 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」
 - 学芸員

英語英米文化学科

希望者全員長期海外研修で、行動力のある「たくましい地球市民」に。英米文化を深く理解し、世界に通じる英語コミュニケーション能力を最大限に高めます。

- [取得が期待される資格]
- 中学校教諭一種免許状「英語」
 - 高等学校教諭一種免許状「英語」
 - ◎ 英語関連諸資格 (TOEIC、TOEFL、国連英検など)
 - *日本語教員

コミュニケーション学科

多様化するメディアの特性を学び、情報の収集・分析を通じて真実を究明。そして、わかりやすく、美しく、効果的に発信。地域に貢献できる情報社会のリーダーを育成します。

- [取得が期待される資格]
- 中学校教諭一種免許状「社会」
 - 高等学校教諭一種免許状「公民」
 - 学芸員
 - 日本語教員
 - ◎ 日本語検定1・2・3級
 - ◎ ビジネス能力検定2・3級

応用生物学部

Pick Upゼミ

応用生物化学科 町田 千代子ゼミ



研究テーマ 植物の発生分化の分子メカニズムの解明

私たちは、葉の形成に関わる分子機構について研究しています。また、日本食に合うワインをつくることを目指し、ブドウの研究、栽培をしています。ゼミでは、先生の指導のもと、活発に意見を出し合い知識を深めています。

応用生物化学科

「生物機能の応用」をキーワードに、動物・植物・微生物の機能を利用する技術を探求。バイオ産業の第一線で活躍する人材を育成します。

- [取得が期待される資格]
- 高等学校教諭一種免許状「理科」
 - 高等学校教諭一種免許状「農業」
 - 食品衛生管理者
 - 食品衛生監視員
 - 甲種危険物取扱者 など

環境生物科学科

人と生物、人と環境との関係を科学的に理解。持続可能な社会における環境創造に貢献する人材を育てます。

- [取得が期待される資格]
- 高等学校教諭一種免許状「理科」
 - 高等学校教諭一種免許状「農業」
 - 食品衛生管理者
 - 食品衛生監視員
 - 甲種危険物取扱者 など

食品栄養科学科/食品栄養科学専攻

食にかかわる技術開発や新商品開発、生産技術や流通システムの開発など、「食」のエキスパートを育成します。

- [取得が期待される資格]
- 高等学校教諭一種免許状「理科」
 - 高等学校教諭一種免許状「農業」
 - 食品衛生管理者
 - 食品衛生監視員
 - 甲種危険物取扱者 など

食品栄養科学科/管理栄養科学専攻

「バイオ」や「食」に強い管理栄養士を養成し、保健・医療・福祉・教育などの分野に送り出します。

- [取得が期待される資格]
- 管理栄養士(国家試験受験資格)
 - 栄養士
 - 食品衛生管理者
 - 食品衛生監視員
 - 栄養教諭一種免許状

生命健康科学部

Pick Upゼミ

臨床工学科 古池 保雄ゼミ



研究テーマ ヒトの神経機能に関する研究

私たちのゼミは人数が3人と少ないですが、その分団結して力を合わせて楽しく「血圧低下などの事例をもとにした神経伝達の異常に関する研究」に取り組んでいます。ゼミの研究内容は難しいですが、厳しくも優しい先生に助けられてがんばっています。

作業療法学科

身体機能から精神機能、そして子どもから大人まで。すべての人が自分らしい生活を送るための支援を行う医療専門職を育てます。

- [取得が期待される資格]
○作業療法士

生命医科学科

いま求められているのは、生命医科学という新たな枠組みでの学び。社会や企業の中で、総合的な視野で予防・健康を増進できる専門家を養成します。

- [取得が期待される資格]
●高等学校教諭一種免許状「保健」
○臨床検査技師

臨床工学科

高度で精密な医用工学機器を医療の現場で医師に協力して操作・管理する医療専門職を養成します。

- [取得が期待される資格]
○臨床工学技士

保健看護学科

総合大学で学べる、医学とバイオの基礎に精通できるというメリットを生かし「看護師」「保健師」「養護教諭」の資格をめざします。

- [取得が期待される資格]
○看護師
(卒業により国家試験の受験が可能)
○保健師
(入学後選抜された学生のみ卒業により国家試験の受験が可能)
●養護教諭一種免許状
(入学後選抜された学生のみ取得可)
●養護教諭二種免許状
(保健師免許を取得した者は自己申請によって取得が可能) など

スポーツ保健医療学科

生命科学・医学の知識を踏まえた健康スポーツの専門指導者を育成。「救急救命士」国家試験全員合格もめざします。

- [取得が期待される資格]
○救急救命士
○健康運動実践指導者
●障害者スポーツ指導員
○水泳指導員・教師
○エアロビクス指導員・教師
●レクリエーション・インストラクター
○トレーニング指導者

理学療法学科

運動にかかわるすべての身体機能を改善させる障害予防、障害後のリハビリテーション、健康増進の医療専門職を育成します。

- [取得が期待される資格]
○理学療法士

現代教育学部

Pick Upゼミ

児童教育学科 小笠原 豊ゼミ



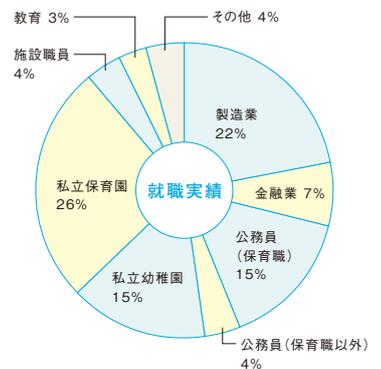
研究テーマ 小中学生が夢中になって取り組む理科教材の開発

メンバーは8人。全員、中学校理科の免許状取得のためにがんばっています。小中学校理科の教材開発を中心に研究を進めています。「いい教具ができれば、ネットで売って大儲けするぞ!」(冗談)と先生が一番燃えています。

幼児教育学科

子どもの願いを読み取り、ともに願いを実現できる幼児教育の専門家を養成します。

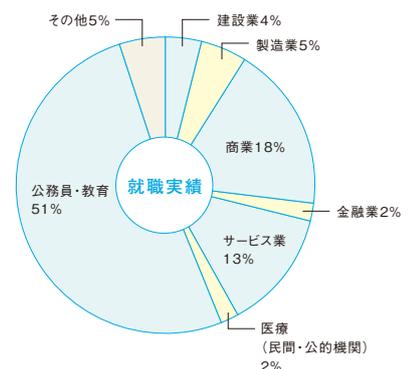
- [取得が期待される資格]
●幼稚園教諭一種免許状
●保育士
●レクリエーション・インストラクター



児童教育学科

時代のニーズを敏感にとらえ、確かな教育力をもったアクティブな教師を養成します。

- [取得が期待される資格]
●小学校教諭一種免許状
●中学校教諭一種免許状(理科)
●特別支援学校教諭一種免許状
●レクリエーション・インストラクター



継続は力なり!

チャレンジ・サイト 活動報告



新しいことにチャレンジする意欲を持った学生を支援し、育てる活動「チャレンジ・サイト」は、8年目を迎え、2013年度は17のプロジェクトが採択されました。学生たちは学部の枠を超え、指導教員のもとで意欲的に活動を展開。目標や目的に向かって実行していく中で得た自信や経験値、協力し合うことの大切さ、悔しさをバネにする気持ちなど、学生たちは活動を通して多くのことを身につけました。

学生と市民が協力連携して
市制70周年の春日井市を
盛り上げよう!

〈指導教員〉人文学部コミュニケーション学科 齋藤 宏保 教授ほか

2013年に市制70周年を迎えた春日井市。その最大の記念行事である春日井まつりは、20万人を集客するイベントです。しかし目玉のパレードは形骸化。そこに注目した中部大生が市民と協力連携して、地域社会を活性化しようと始めたのがこの活動です。春日井市のシンボル、小野道風の衣装やサボテンの着ぐるみを地元高齢者に製作していただき、学生はその衣装を着て「わがまち春日井」の曲に振りをつけ踊りながらのパレードを計画。しかし本番当日は雨で中止。代わりに文化フォーラムのステージでパフォーマンスを披露することで、会場にいる人たちへ元気を届けることができました。地域社会に貢献する貴重な体験をする機会を得ることができた活動になりました。



フィナーレでは、伊藤太春日井市長の呼びかけで中部大生がステージの中央に集められ、華やかさと若さを前面に出した「盛り上げ隊」の最後を飾った。

教師・保育士を目指す学生と
地域の子どもたちが協同して
育ち合う、実践的自然体験型
環境教育プロジェクト

〈指導教員〉現代教育学部幼児教育学科 采翠 真澄 准教授

「自然とかけ離れている暮らし」から生まれる「経験不足」は、現代の学生や子どもたちの多くが抱えています。本プロジェクトの目的は、中部大学が所有する「本物の自然」との関わりを活用して「経験不足」を解消するきっかけをつくり、子どもの生きる力と、学生の科学的思考や解決力を指導するための力の育成です。この目的を達成するため、フレンドシップ活動では、ツリークライミングや田んぼでの田植え・稲刈り、畑での農作物の苗植え、収穫を、学生が主体的に企画運営し、子どもたちが自然と親しむことができるように考慮しました。この取り組みを通して、子どもたちは学生の提供する環境によって学び、学生は子どもたちの様子から学ぶという学び合いができました。



田んぼを利用した活動として、例年6月に苗植えを実施。2013年度は、田んぼにいる動物と触れ合う時間を設けることで、子どもたちはカエルやザリガニ、バッタなどの生き物と触れ合った。

ロボットチャレンジ

〔指導教員〕工学部機械工学科 佐伯 守彦 准教授ほか

ロボットチャレンジは、競技会に参加可能な新型ロボットを開発し、各種大会や国内外の大会で上位をめざすことを目的に活動しています。2013年度も、前年度に引き続き「RoboCupジャパンオープン」に参加しました。車輪型の小型ロボットリーグでは予選敗退してしまいましたが、ヒト型の小型ヒューマノイドリーグでは、念願の国内大会初優勝を果たすことができました。しかし、優勝できたロボットが新型のロボットではなく、過去の先輩たちが製作した旧型ロボットであったため、現役学生にとっては満足のない結果に。この反省を踏まえ、学生たちは、ロボットの動作、経路をより正確なものにするために新しい戦略ソフトの開発に力を入れ、活動を続けています。



車輪型ロボットとヒト型ロボット、そしてRoboCupジャパンオープンで優勝したときの表彰状を持って記念撮影。さまざまな学科の学生が技術を共有し合ってロボットを開発している。

地球がキャンパス — 中部大学国際女子力UP！ プロジェクトによる教材作成

〔指導教員〕国際関係学部 国際関係学科 羽後 静子 教授

本学の女子学生たちが、「国際女子力」の向上を目的に、夏休みピースボート船上大学プログラムへ参加。地中海地域の視察と国際政治経済、歴史や文化を学びながら10カ国の寄港地で海外のNGOとの学びや女性たちとの交流を体験しました。「国際女子力」とは、①英語を通じて、聴く力、話す力などの国際的なコミュニケーション能力、②世界を見聞して得た豊かな教養と国際的専門的知識や批判的複眼的思考と創造力、③精神的経済的に自立する力と他人への思いやりと社会に貢献する意思力。この3つを必要要件とし、船上講座では、英語で研究発表しながらその海外体験をもとにビデオ教材を作成。帰国後は、中部大学の女子学生たちに広く呼びかけ、体験報告を行いました。



ちゅーぶ地域とつながろう新聞

〔指導教員〕経営情報学部 経営学科 川北 眞紀子 教授

本プロジェクトの目的は、より多くの人に、地域について興味や関心を持ってもらい、地域の取り組みを広め、地域に貢献することです。まずはWeb上に「ちゅーぶ地域とつながろう新聞」というニュースサイトを構築し、コンテンツを掲載。愛知・岐阜・三重を中心に地域活性化活動を行っている企業・団体へ取材して記事を作成し、情報の発信を続けました。仕事のプロセスを学ぶとともに、多くの社会人と接することができ、活きた環境での経験になりました。また、活動の最後には年間の成果を冊子としてまとめたという学生の希望により、学生自らがデザインソフトを駆使しながら制作を実施。印刷会社の方からご指導をいただき、無事発行することができました。

プロの方に協力をいただき構築したニュースサイト。

ニュースサイトに掲載した記事を再構成して制作したパンフレット。

全国映像コンクールでの グランプリ獲得作戦

指導教員 メディア教育センター
村上 和彦 教授ほか

全国規模の映像コンクールにビデオ作品を出品し、グランプリ受賞を目指して活動中。2013年度は、中映協映像コンテストをはじめ、4つのコンクールに7作品を出品したが入賞は果たせなかった。主催者から指摘された「さらに踏み込んだ取材」や「ターゲットを絞り込んだ取材」を踏まえ、今後の活動に活かしていくことを決めた。

スポーツ活動支援プロジェクト

指導教員 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科
西垣 景太 講師

大学全体における健康維持やスポーツ活動を活発化させるために、学生主体によるスポーツ活動のサポートを展開。2013年度は、学内での勉強会やトレーニング指導の継続とあわせて、学外での活動の拡大を目標とした。中でも、2014年1月に開催された新春春日井マラソン大会には、救護班として10名が参加した。

学生主体の 事業継続マネジメントシステム

指導教員 経営情報学部 経営学科
伊藤 佳世 准教授

本プロジェクトでは、中部大学ESDエコマネーチームを結成し、標準を使う→作る→教えるという実践型の標準化人材育成を行っている。2013年度は、事業継続マネジメントシステムに関する標準化ゲーム「会社を守ろう」を産学官民と連携して開発。開発した教材を、学術会議や環境イベント等で展示・実演した。

アジアニュースの 翻訳・発信プロジェクト

指導教員 国際関係学部 中国語中国関係学科
澁谷 鎮明 教授

日本においてアジア関連のニュースに偏りがあると言われていたことから、その報道の隙間を埋めるために始まったプロジェクト。ただニュースを収集・分析して翻訳を行うだけでなく、翻訳をきっかけにしてアジア理解の場を作ることを目的に活動した。成果の一部を大学祭での展示や学部ホームページで発信した。

企業との連携を考慮した 学生主体のオープンソース研究会

指導教員 経営情報学部 経営情報学科
前田 和昭 教授

大学生が大学で勉強しているだけでは、躍進するITを裏で支えている企業の実態に接することはほとんどない。そこで2012年度に、学生主体のオープンソース研究会を立ち上げ、中小企業のソフトウェア開発者と情報や知恵を共有。2013年度は、インターネットで必須となるWebシステム開発技術を中心に勉強を行った。

中部大生による 子育て応援プロジェクト

指導教員 生命健康科学部 保健看護学科
石井 真 講師ほか

学生が継続的な子どもの発達を学び、地域の子育て支援ニーズにも対応するべく、学生による乳幼児の託児ボランティアを行っている本プロジェクト。2013年度は、地域貢献活動を主眼とし、学生が企画案の作成や企画の準備等の役割を担った。託児活動においても、安全面に留意しながら、学生自身も楽しみながら託児を行った。

中部大生が中部地方の 観光問題に迫る —現地での実態調査—

指導教員 文学部 歴史地理学科
山元 貴継 准教授

本プロジェクトでは、中部地方各地の観光問題について学生が主体となって検討し、その実態を明らかにする。2013年度は、街並み観光の場として注目を集めてきた「妻籠宿」と「馬籠宿」の両宿をめぐる観光客の動向を調査した。同時に、2012年度に行った下呂温泉における観光実態調査の成果も学会等で発表した。

中部大生が製作する 手作り天体望遠鏡で宇宙を観よう!

指導教員 工学部 機械工学科
難波 義治 教授ほか

「中部大学生は土星の輪を見て卒業しよう!」を合言葉に、金属表面超精密加工の最先端技術を使って、大型アルミ合金鏡を製作することを最終目標としている本プロジェクト。2013年度は、NC旋盤等の工作機械を扱うことで、モノづくりに対するスキル向上も図れた。また冬合宿では、星雲・銀河の撮影に成功した。

産学官民協働による 中部大学周辺域の生物保全活動

指導教員 応用生物学部 環境生物科学科
南 基泰 教授ほか

保全対象は、植物、昆虫、動物を含む生物全般。2013年度は、知多半島臨海工業地帯4企業緑地における生物多様性評価として、哺乳類相生息調査および企業緑地整備の提言を行った。中型哺乳類相においては、タヌキやニホンウサギなどの在来種が優占していることがわかり、保全対象動物と害獣を区別することなどを提言した。

障がい者スポーツのすすめ

指導教員 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科
伊藤 守弘 准教授

本プロジェクトの最終目的は、障がい者スポーツを理解し実践できる人材、障がい者スポーツを科学的に研究できる人材を育て、社会に送り出すことである。2013年度も前年度に引き続き、障がい者スポーツイベント「心をつなごうスポ・レクチャレンジ」の開催を最大の目標とし、企画・運営はもちろん、宣伝等も学生が行った。

オリジナル食品の開発と 学内販売に挑戦する

指導教員 応用生物学部 食品栄養科学科
根岸 晴夫 教授

本格的な食品製造プラントにて、大学オリジナルの食品開発と学内販売のシステム作りに取り組んだ。2013年度は、米粉の低アレルゲンクッキーの味のバリエーションとして、ゴマ風味を開発した。また飲料プレート殺菌システムを利用して、オリジナルのコーヒー牛乳を定期的に製造し、学内の販売システム設置に挑戦した。

「中部大学子育てすすく育て隊」 地域貢献活動

指導教員 現代教育学部 幼児教育学科
梶 美保 准教授ほか

学生の主体的な子育て支援ボランティア活動を通じて地域に貢献する本プロジェクト。主な活動は子育て支援ボランティア事業における企画や実践、地域子育てフェスタなどのイベントへの参加など。2013年度は、40回424名の学生が参加し、多様な職種や人、親子との関わりを学び、次世代育成支援の力量形成を図ることができた。



One for all, All for one

中部大学ボランティア・NPOセンター
2013年度活動報告

本センターは、学生自身によるボランティア活動団体としてスタートして以来、2014年度で設立10周年を迎えます。ここでは、学生が主体となり、イベントの企画立案から運営・評価・改善まで総合的に取り組んでいる各プロジェクトの紹介と、2013年度の活動内容をダイジェストで紹介いたします。

Pickup



介助犬フェスタ

「介助犬」のPRを目的に開催している行事で、今回で3年目の参加。

「社会福祉プロジェクト」では、社会における「差別・偏見」をなくしていくことを目的とした活動を展開。高齢者・障がい者と実際に触れ合うことで理解を深め、社会における差別・偏見を自由にしていく「心のバリアフリー」を世間に広めていき、ノーマライゼーションした社会の実現を目指しています。

2013年度主な活動実績

- 愛知県コロニー/こばと学園におけるボランティア活動
- 地域の社会福祉施設でのボランティア
- チャリティー募金活動

社会福祉プロジェクト

共感的な
「心のバリアフリー」を
目指して

Pickup



子ども自然体験キャンプ

地域の小学生を対象とした1泊2日のキャンプで、毎年開催している。

少子化に伴う異年齢間の交流の減少により、コミュニケーションや自己判断することを苦手とする子どもが増えたと言われていました。「社会教育プロジェクト」では、地域社会と連携した地域教育を通して、青少年が社会の中で人と交わり、共に生活していくために必要なソーシャルスキル習得の場をつくっています。

2013年度主な活動実績

- さくらまつり(尾張旭市)/運営補助
- 学びの森
- 春日井まつり子ども企画委員会

社会教育プロジェクト

「体験すること」を
きっかけに、
ソーシャルスキルの
習得を目指す

Pickup



中部大学祭模擬店出店

フェアトレードコーヒーと、東北の地元料理「おくずかけ」を販売した。売上は被災地支援活動に役立てられた。

飢えや病気、紛争や環境破壊など国際社会はさまざまな問題を抱えています。「国際理解プロジェクト」では、国際交流の発展と地域と連携した国際理解教育を推進していくために、国際理解活動に関心を深め、国際理解力の向上を目指して交流活動や支援活動、勉強会などをおこなっています。

2013年度主な活動実績

- ワクチン支援活動～ペットボトルキャップ回収～
- 国際理解を深める勉強会

国際理解プロジェクト

国際交流の発展と、
地域と連携した
国際理解教育の
推進に向けて

2013年度活動方針

中部大学ボランティア・NPOセンターは、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を、学生自身が実践し、自立的、自発的に行動できる人材の育成を目指して、「ボランティア活動の促進」と「ボランティアスタッフ養成」を展開しています。2013年度は、「One for all, All for one ~自分の弱みを知って周りから吸収し、自分の強みを知って周りに貢献する~」の活動方針を心がけ、スタッフの意識統一や情報共有に重きを置いて活動しました。

Pickup



大村知事と語る会

愛知県主催の会にて、発表前に知事とセンターの参加者で記念撮影を行った。

環境問題を解決していくためには、一人ひとりが自発的な意識を持ち、目的を持って行動することが重要です。「環境対策プロジェクト」では、活動を通して自然や環境問題と触れ合っている、環境問題解決への関心を高めて地域とのネットワーク構築を工夫していくことで、多方面における環境問題解決を目指しています。

2013年度主な活動実績

- 食農体験(親子田んぼ体験)
- 自然保全活動(森の健康診断、藤前干潟クリーン大作戦)
- 環境学習(省エネルギー推進活動)

環境対策プロジェクト

環境プロジェクトの ネットワーク構築と 多方面からの環境対策

Pickup



被災地支援活動

宮城県気仙沼市の仮設住宅で住人の方とおはぎを作っている様子。現地へは毎年2回訪問している。

私たちは、津波により多くの死者・行方不明者を出した東日本大震災から多くを学び、今後起こると言われている東海大震災に備えなくてはなりません。「災害対策プロジェクト」では、スタッフの一人ひとりが平常時から災害に対する情報交換や学習活動を継続的にを行い、被災地の風化阻止と情報発信に努めています。

2013年度主な活動実績

- 学内防災訓練、防災講演会参加
- 神戸研修
- 救命講習会

災害対策プロジェクト

大規模災害 「東海大地震」に 備えた実践的な プログラムの実施

Pickup



COC事業*アンケート調査

地元の大型ショッピングセンターにて、来店者にアンケート調査をしている様子。

「市民参加型」や「地域密着型」の地域貢献活動に注目が集まり、自分の住む地域に対する意識レベルが高くなっています。そこで2013年、プロジェクト名を「まちづくりプロジェクト」から「地域貢献プロジェクト」に改称。より深く地域と関わる活動を通して地域貢献のできる実践者を育成し、地域との結びつきを強化しています。

2013年度主な活動実績

- 福島っ子キャンプ/支援活動
- 春日井まつり企画運営委員会
- 自転車マナー向上活動

地域貢献プロジェクト

地域貢献の出来る 『実践者』の育成と、 行政と協働による 市民参加活動の推進

*COC (Center of Community) 事業: 文部科学省が推進する「地(知)の拠点整備事業」で、地域志向の活動を通して学生の教育・人材育成に取り組む大学を国が支援するもの。

留学・国際交流

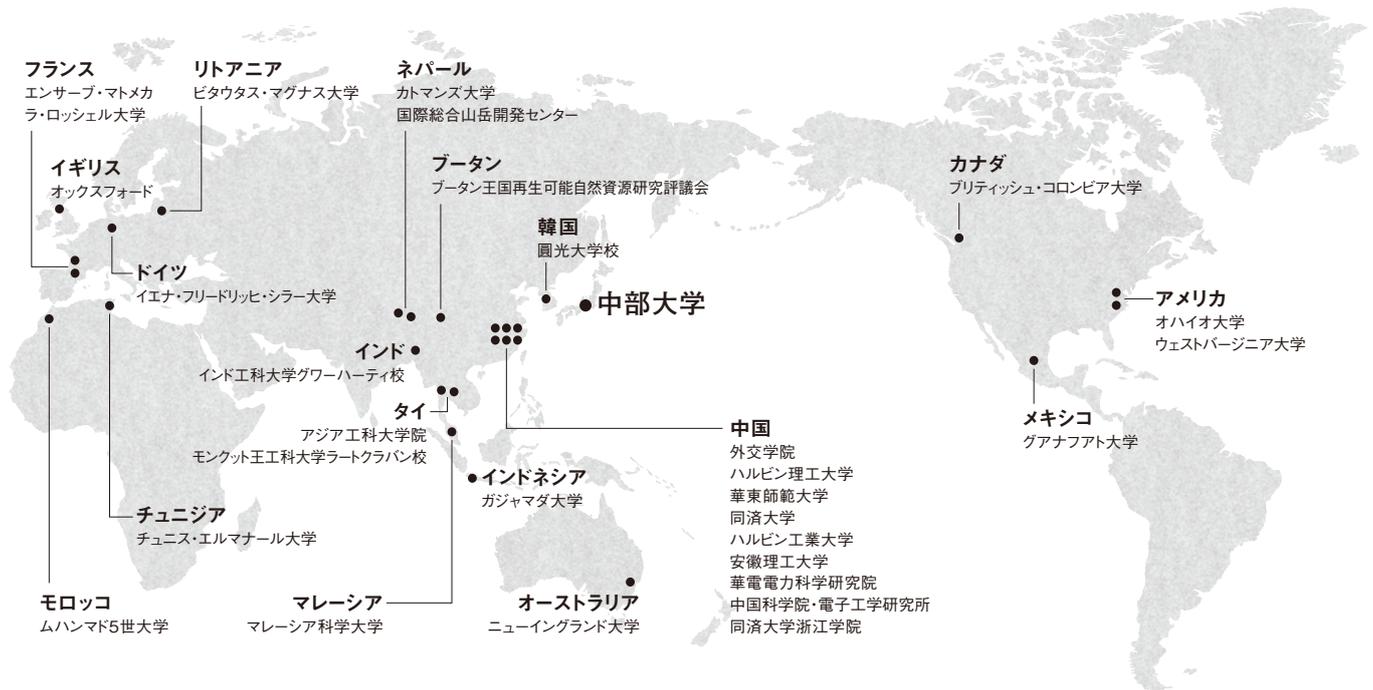
～世界とつながる中部大学～

世界18カ国30大学・機関と交流している中部大学。

短期～長期の多彩な留学プログラムや奨学金制度、

海外からの留学生と積極的に交流できるイベントやネイティブ教員による充実した語学教育等を実施し、

学生の異文化交流への意欲に応えるとともに、グローバルな人材の育成に力を入れています。



留学・研修プログラム ※長期の留学・研修でも4年間での卒業が可能です。

海外研修プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 長期研修 (初級・中級)	アメリカ	2年次 春学期	3～6月
ブリティッシュ・コロンビア大学 英語短期研修 (初級・中級)	カナダ	4週間	8～9月 (休暇中)
オックスフォード 英語短期研修 (初級・中級)	イギリス	3週間	8～9月 (休暇中)
ニューイングランド大学 英語短期研修 (初級・中級)	オーストラリア	4週間	2～3月 (休暇中)
西洋美術研修	フランス	2週間	8月 (休暇中)
外交学院 中国語短期研修 (初級・中級)	中国	4週間	2～3月 (休暇中)
グアナフアト大学 スペイン語短期研修 (初級・中級)	メキシコ	4週間	2～3月 (休暇中)

派遣留学プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	秋学期	8～12月
ウェストバージニア大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	秋学期	8～12月
ニューイングランド大学 派遣留学 (上級)	オーストラリア	1年間	2～10月
ハルビン理工大学 中国語・中国文化派遣留学 (中級・上級)	中国	春学期	2～6月
		秋学期	8～12月
華東師範大学 派遣留学 (中級・上級)	中国	春学期 または1年	2～7月 2月～翌年1月
		秋学期 または1年	9月～翌年2月 9月～翌年7月
圓光大学校 韓国語・韓国文化派遣留学 (中級・上級)	韓国	春学期	2～6月
		秋学期	8～12月

留学のための奨学金制度

※成績・家計基準等の条件があります。詳しくは国際センターへお問い合わせください。

2013年度は、中部大学や外部機関の奨学金制度を利用して、約170名の学生が留学しました。

海外留学・研修奨学金制度

■海外派遣留学奨学金

派遣地域により月額6万円から8万円の海外派遣留学奨学金(返済不要)が支給されます。

■海外長期研修奨学金

参加者全員に10万円の参加奨励奨学金(返済不要)が支給されます。さらに、月額5万円×4カ月間の特別奨学金(返済不要)も支給されます。

■海外短期研修奨学金

参加者全員に派遣地域により、3万円から5万円の参加奨励金(返済不要)が支給されます。さらに、派遣地域により3万円から5万円の特別奨学金(返済不要)も支給されます。

オハイオ大学大学院奨学金留学制度

4年生と学部卒業後5年以内の卒業生が、オハイオ大学の大学院授業料免除(+語学学校受講料免除)と生活費の支給を受けられる大学院奨学金制度に応募できる制度です。

(独)日本学生支援機構(JASSO) 留学生交流支援制度(短期派遣)

JASSOから毎年通知される成績評価基準(GPA)等を満たした学生に、派遣地域により月額6万円から8万円(返済不要)の奨学金が支給される制度です。

まずは「国際センター」へ。

留学・研修に関する相談や申し込みはもちろん、留学先の情報を調べたい、海外留学生と交流を図りたいと思ったら、まずは国際センターを訪ねてください。さまざまなイベントを用意して、世界を学びたいという学生の意欲に応えています。



留学フェア

春・秋学期の初めに行われる中部大学の留学プログラム説明会です。留学先別にコーナーが分かれていますので、一度にいろんなプログラムの説明を聞くことができます。また、交換留学生から直接、現地の様子を聞くことができる貴重な機会です。

9/24(水) 15:20～
10/1(水) 15:20～

(場所は
国際センターです。)



D.I.テーブル Discovering Internationalism Table

毎週木曜日のランチタイムに国際交流プラザで開催中のイベント。留学生と中部大生が同じテーブルを囲んで食事をする事で、さまざまな“出会い”や交流が生まれることを期待しています。国、性別、学科、年齢を超えた友だちの輪がきっと広がります。



C.U.P.S. Chubu University Peer Support

中部大生が留学生のピア(友だち)となり、さまざまなサポートを通じて国際交流することを目的としたボランティアグループです。留学生の歓送迎会、キャンパスツアー、名古屋市内見学など、多くのイベントを国際センターと企画・実施しています。

充実の語学支援

使える英語を身につける

PASEO

オハイオ大学の協力を得て構成されているOPELTが実施している英語強化プログラムです。語学留学・学部や大学院正規留学、英語を必要とする職業への就職をめざしている1年生から大学院生までが、レベル分けされたクラスで使える英語を磨きます。

※Preparation for Academic Studies in English Overseas



語学自習に最適な空間

SI Room

SI(Self-Instruction) Roomは、語学を身につけるには、「自らが一歩踏み出し、自らが学ぶ意識が不可欠」と1988年に設立された語学専用自習室。自習に適した語学教材を厳選し、英語教員による学習相談や自主学習の支援のための講座も提供しています。



語学のことならココへ

語学センター

語学センターは教育・学習・技術をつむぎつけてハード面、ソフト面から語学環境を支えています。語学教室の整備だけでなく、SI Roomの運営、PASEOの開講、集中講座や特別講座の実施、TOEFL模試、英語コミュニケーション能力判定テスト「CASEC」の実施も担っています。



日本語学習をサポート!

カンパセーションパートナー

カンパセーションパートナーとは、協定大学からの外国人留学生の日本語学習を、中部大生が支援する制度です。留学生と日本語で会話することがおもしろいですが、親しくなることで、日本人学生の外国語学習にも効果が期待できます。



中部大学 語学センター

検索

わが子と

大学に期待する

親の本音。



大学生の子どもを持つ親として、
学業や成績、友人関係、資格、就職などの
不安や悩みは尽きないものです。
ここでは、保護者の方のお子様に対する思いや、
大学に対する感想・要望などを紹介します。

このインタビューは、『父母との集い』(平成25年6月15日・11月9日・平成26年5月10日)に
出席された方からのお話をまとめたものです。ご協力ありがとうございました。
※お名前の上の表記は、取材時のご子息・ご息女の学部学科学年です。

社会で活躍できる
学生を育てようとする
大学の教育に安心。

1

工学部 電子情報工学科
1年生のご両親

近藤様

中部大学のOBで、今日久しぶりに

大学へ来ました。キャンパスに入ったときの印象は昔と変わりませんが、奥の方に建物が増えたこと、また学生が集えるオープンなスペースも増えたという印象です。今日の話聞いて、先生方が学生のことを一生懸命に思ってくださっていることがわかりました。逆に以前はこんなに親切だったかなと感じるほど(笑)。でもとても安心しましたね。息子は現在一人暮らしで、実家に顔を出すのは月に一度くらいですが、それぐらいの頻度で会うと、ちょうどお互いに話したいことを話せるようです。親元を離れて親のありがたみもわかってくれたみたいですね。息子はまだ1年生ですが、今から就職に向けて考えておかなければならないことがあると思います。将来の仕事をイメージし、今すべきことをする。大学の勉強はもちろんですが、世の中にはどんな会社があるのか、いま自分が勉強していることがどんな仕事につながるのか、就職活動に臨む前にそういう知識を得るようには伝えていきます。全体説明会でも紹介されていましたが、私が学生だった頃と比べて今は、社会に出てから活躍できるようなアプローチをしてくれていると感じました。一人で勉強を進めるのではなく、チームで結果を出すような、企業が求める力を理解して大学で実践してくれているようですね。

友人から刺激を受け、
立派な社会人に
育ってほしい。

2

生命健康科学部 臨床工学科
1年生のご両親

中山様

子どもが学ぶ大学を一度は見せておきたいという思いから、『父母との集い』に参加しました。子どもに干渉し過ぎた経験が過去にありましたので、全体会で学生部長が仰っていた「干渉ではなく関心を持つってコミュニケーションを」という言葉に、とても共感することができました。家庭では、食事の際に何気なく話しかけるようにしてコミュニケーションを取っています。息子が入学して半年が経過し、周りの学生と一生懸命勉強しているようです。息子は国家試験に向け

て忙しく、サークルやアルバイトをする時間が作れそうにありません。無理なお願いではありませんが、勉強だけでなく、交友関係を広く築ける機会を大学で設けて貰えないものかと思っています。人として大切なことは、教科書が教えてくれるわけではありません。社会のどこに出ても生きてゆける、人間形成の場として大学生活があつてほしいと考えています。個別面談では、就職などについて詳しく聞くつもりです。

**国家資格取得に向け、
諦めずに頑張つて
学んでほしい。**

生命健康科学部 生命医科学科
2年生のお母様

S様

娘は臨床検査技師を目指しています。医療機関で働くためには、その国家資格が必要です。受験するには大学で定められた科目を履修しなければなりません。資格は取得できているのか心配です。資格は就職など、後で必ず役に立つものから、諦めずに頑張つて勉強してもらいたいです。2年生となり、本人に不安と焦りが始めたようで、ついには親子で衝突してしまいました。その

ため、なかなか娘から話を聞き出せず、普段の生活を見守っている状況です。親が知りたい情報を、なにからなまでに全て娘に聞くわけにもいきません。そんな中、このような機会を大学が設けてくださることは、非常にありがたいと思っています。親身になって相談に乗つてくださる素晴らしい先生方がいらっしゃるの、娘には積極的に先生に質問して勉強に励んでもらいたいですね。今後も『父母との集い』には参加したいと考えています。

**就職の情報を
保護者も見られることを
初めて知りました。**

現代教育学部 児童教育学科
4年生のご両親

片岡様

就職活動の実態があまり見えていない部分がある一方で、子どもにあまり聞き過ぎるのもよくないと思つて参加しました。息子は就職活動を進めています。とは言うものの、大学のスケジュールにしっかりと乗つているのかも気になります。特別支援教員に興味があることや、実習で小学校へ訪問して楽しさを感じているようですが、どこまで本気で

教員を目指しているのかはわかりませんが、教員になることも決して容易ではないでしょう。ただ、今日の話を聞いて、大学の状況や、どんな立ち位置にいるのかは確認できました。就職状況もわかり、内定率も徐々に上がっていくのだと理解し、知らないことから生まれる不安も払拭されたと思います。また、私たち保護者でも、就職に関する情報を大学のウェブで見られることも、今日教えてもらうことができました。

**社会は厳しい。
けれど、続けることで
手に入るものがある。**

経営情報学部 経営情報学科
1年生のご両親

西村様

大学には、就職を考えて学科を選び入学しています。ですから、大学を卒業するときには、企業にアピールできるところを学生時代のうちに身につけておくようにと言ひ聞かせています。今日はそのための大学側の支援を知りたいと思ひ参加しました。以前と比べて今の大学は、学生の手を引く張るようなサポートをしていくようになってですね。親としても、大学の段取りを知ることができ

れば、それとなくタイミングを見て、子どもの背中を押せるかなと感じました。大学について共通の話題を持てることはいいですね。娘を見ていると楽しそうであらやましいほどです(笑)。でも、就職すれば楽しいのは10のうち3くらい。どんな職業にしろ、その3で自分の好きなことや充実を感じられれば、後の7が耐えられる。社会は厳しいけれど、続けていけば何かいいことがあるし、自立できてお金も稼げる、ということを家庭でたくさん話している方だと思ひます。勉強も大切ですが、円滑な人間関係を築いて、へこたれずに頑張つていける人間になってほしいですね。

**内定先企業の情報を
聞くことができ
満足しています。**

人文学部 歴史地理学科
4年生のご両親

吉田様

『父母との集い』に申し込んだときは、息子がまだ内定をもらう前でしたので、就職活動の進捗具合などを知りたくて個別面談を希望しました。しかしその後、内定を獲得。ただせっかくの機会です。息子は一人暮らし



ということもあり、連絡はメールでのやりとりが月に1、2回程度。ただ、真面目な性格ですので、周囲と同じように活動の波には乗るだろうと思っていました。しかし目が届くわけではありませんから、このような説明会は親としてとても助かりますね。昨年も、この集いで就職活動の流れやステップについて聞いていたから、ガイダンスの参加等には欠かさず参加するようにとは伝えていました。

就職活動中は、あまり話してこない息子から、交通費も意外にかかることを聞き、親として経済的な支援をしました。本人は申し訳ない気持ちもあつたのか内定獲得の連絡はすぐしてくれました。残りの学生生活もあと少し。社会は甘くはありません。だんだん気持ち切り替えて、しっかりとした社会人になれるような心構えを持つてほ

しいですね。大学でも個別面談があることは素晴らしいと思います。昨年と同じ先生に相談に乗っていただき、本人のやりたいことや内定をいただきたい会社の概要などを聞かせていただくことができ、今日は満足しています。

**就職活動に向けて
親としての準備が
できました。**

7

応用生物学部 食品栄養科学科
3年生のご両親

中西様

就職活動は子どもが主体的にするものだと思いますが、親としても心の準備や情報の準備はしておいた方がいいと思います。卒業までのスケジュールを把握できたことに満足しています。また、学生の主体性を大事にしている大学の姿勢やサポートの充実もわかりましたから、後は本人のやる気次第ですね。親として気になっているのは、地元か名古屋のどちらで就職するのかということ。益や正月などで会う度に聞いていますが、息子は学科での学びに沿った企業を考えているようですので、親としても応援したいですね。今は学生生活でしかできないことなど、いろ

るなことを経験してほしい。一人暮らしで自立した生活を送っているようで、帰省するたびに成長した姿を見られることは親としてもうれしい限りです。

**自分に合った学びと
検討中の進路に、
心配はありません。**

8

生命健康科学部
スポーツ保健医療学科
3年生のお母様

塩野様

息子は、スポーツ保健医療学科初の卒業生になります。まだ就職実績がない学科ですので、就職について聞いてみると『父母との集い』に参加しました。大学が紹介するセミナーや、先生たちの手厚いサポートがあることを聞いていたので不安はありませんでしたが、本日の説明会で、学生を支援する大学の意気込みが伝わってきたので安心しました。下宿をしている息子とのコミュニケーション手段は電話です。大学での学びにも関係する会員制スポーツクラブでアルバイトをしているようで、一人で計画的に生活して、思った以上に頑張っているなど感じています。講習会・研修への参加や先生たちの話を聞くなど、スポーツトレーナーの進路を検討中のようで、今

は親として見守っている状況です。本当に自分に合った学部を選べたみたいですので、進路は心配しなくていいかなとも思っています。就職活動は、後輩のためにも頑張してほしいですね。プレッシャーにならない程度に期待しています。

**自ら多くの人と接し、
大学4年間を
楽しんでほしい。**

9

人文学部 心理学科
1年生のお母様

M様

『父母との集い』に初めて出席して、思っていた以上に参加者が多い印象を持ちました。学部学科説明では、もっと踏み込んだ内容の情報が聞けると良かったと思います。家庭内で子どもと接する時間は短いです。友人や大学での出来事を話してくれます。息子は、サークルにあまり興味が無く、仲の良いグループの仲間内だけで満足しているようです。もう少し交友関係を増やしてくれたら良いと思いますが、本人が自主的にどのようにならざるを得ないか、一番大切です。中部大学は総合大学として、さまざまな目標や考えを持った学生が多く集まっていますの

で、一人でも多くの人と接してほしいと思います。また、大学4年間の限られた時間を自由に満喫してもらえたらいいですね。それ以上のことはあまり望んでいません。就職についても、1年生ということもあり、まだ意識していないようですが、自分で考えて決めてもらえたらと考えています。

**娘が日々学ぶ
研究室や設備を
見てみたい。**

10

応用生物学部 環境生物化学科
3年生の両親

河井様

3年生になり就職活動がもうすぐ始まるということで、初めて『父母との集い』に参加しました。娘は家で大学の出来事などをあまり話す方ではないので、娘がスーツを着て出かけていく姿を見守っていました。でも今日の話を聞いて、就職についてのサポートプログラムがあり、それに参加しているのだと理解できました。娘がどんな勉強をしているのかは親として気になりますし、今日は見ることができませんでしたが、日々学んでいる教室や研究室、設備などがどんな感じなのかを見てみたい思

いはありますね。大学の4年間は、ある程度余裕を持って過ごせる時間ですから、そうした時間を活かして、世の中を知ってもらえたらいいと思います。

**世界に負けない、
学ぶ意欲を持った
学生生活を。**

11

人文学部 日本語日本文化学科
3年生のお父様

町田様

私は海外によく行くので感じるのですが、日本の学生は海外に比べ学ぶ意欲が低いです。今後、大学も国際感覚豊かな教育をしていかないと世界に遅れてしまいます。また、学生と企業との接点が今以上にあると良いのではないのでしょうか。企業サイドから大学へ、実務に近いことを教えるよう要求してもいいのではないかと思います。大学の勉強も大変ですが、社会に出てからの方がより大変ですからね。『父母との集い』に初めて参加してみて、就職について大学がしっかり支援をしてくれている印象を持ちました。娘には、学んだことを仕事に生かしてもらえる仕事に就いてもらえれば良いなと考えています。アルバイトを2つ掛け持ちでしており、

さまざまな世代の人と共に働き、触れ合うことで、世の中にはいろいろな人がいることに気付いたようです。自宅で論文などに取り組む姿も見ているので頑張っているなと思いますが、大学でしか学べないことも多いので、もっと勉強に集中してもらいたいですね。

**将来を考えて、
学ぶ時間と
友人関係を大切に。**

12

生命健康科学部 生命医学科
1年生の両親

高宮様

息子は臨床検査技師の国家資格取得を目指しています。私たち夫婦も臨床工学技士、看護師の国家資格を取得していますので、息子のだらけている姿を見ながら、資格取得のために進学した大学であることを口酸っぱく言っています。今後、団塊の世代の臨床検査技師が一齐に引退するため、就職採用枠が増えることが予想されます。しかし、そのような社会状況に甘んじることなく、貪欲に学んでほしいと考えています。最近では、会話の中に大学で学んだことが話題に上ることも増え、学んでいる分野に関する新聞記事に目を通す

など、自分なりに将来のことを考えていると思える部分が目に残るようになってきました。せっかく国家資格の受験資格が得られる大学に入学したわけですから、合格できるように大学にはしっかり指導していただきたいと思っています。また、学業も大切ですが、学生時代の友人も大切です。クラブやサークルに所属するなど、学内での交友関係も築いてくれたらいいなと思っています。

**就職は本人次第。
意見を尊重して
見守りたい。**

13

国際関係学部 国際関係学科
4年生のお母様

K様

大学の様子を知りたい思いから、毎年『父母との集い』に参加しています。娘が3年生になってからは、就職に関する情報を聞くことが主な目的になっています。教職員の方々が一生懸命指導してくださるので、中部大学の就職に対するバックアップには安心していますが、就職は本人次第。親が焦っても仕方がありません。そのため、どこまで親が口を出していいものかと考えながら娘とコミュニケーションを図っています。もちろん、

親としては安定した企業に就職してほしいのですが、子どもが本当に進みたい道と親の望む道は違うはずです。二十歳を過ぎた一人の大人ですから、本人の意見を尊重すべきだと考えています。就職とは別に、残された大学生活の中で大学生だからこそできることをしてもらいたいですね。娘は1カ月間のオーストラリア留学を経験していますが、国際関係学部で学んでいるのであれば、もう少し海外を見て視野を広げる機会をつくるのもいいのではないのでしょうか。

勉強と就職活動に、 しっかり取り組む 姿勢は評価したい。

14

応用生物学部 応用生物化学科
3年生のご両親

早川様

今回の『父母との集い』は、就職がテーマだったので参加を決めました。想像していた通り、世間一般で言われている厳しい就職状況ですね。息子は、就職サポートプログラムやインターンシップに参加するなど、就職を現実的に考え、時間管理をして活動しているようです。頑固な部分もありますが、しっかり勉強もしているので評価しています。時

代なのでしょうか、好きなゲームを通して学内はもちろん、学外では歳の離れた社会人の仲間もいるようで、オフ会などにも参加しています。自宅では食卓を囲んだ際に会話をしますが、私の同年代の頃と比べ、男の子にしては親とのコミュニケーションがとれている方だと思います。最近では、ものの見方や世間が少しずつ分かってきたなと感じるようになってきました。活動的に家から外へ出ていく性格ではないので、もともと多くの経験をしてみ聞を広めてほしいものです。就職については難しいと分かっていますが、大学で学んだことを生かせるところへ就職してもらいたいですね。

個別面談で 何を話しているのか 気になります。

15

経営情報学部 経営情報学科
1年生のお母様

山中様

入学前のオープンキャンパスや先日開催された大学祭など、地元という理由もあり、大学へ度々足を運んでいます。今日は、息子がどんな勉強をしているのかを知りたくて参加しました。全体会では、必要な単位数や成績の評価につい

て知ることができてよかったですね。ただ、学部説明会では学科や学びについても詳しく知ることができると思っていたので、少し物足りないと感じてしまう内容でした。また今回は、1年生という内容で何を話してよいかわからず個別面談には申し込みまなかったのですが、ほかの親御さんほどのようなことを相談されているのが気になりました。高校の個人面談のようなイメージでよいのか、授業の様子を聞いてもよいのか。昨年はこんな質問や相談がありましたといったサンプルがあると、これなら私も聞いてみたいと思えて、相談しやすいかもしれませんね。開催時期はいいと思いますので、今後の内容に期待しています。

望む仕事に就くため、 妥協することのない 就職活動を。

16

人文学部 心理学科
4年生のご両親

橋本様

息子の強い意志で入学した中部大学は、評判通り就職率も高く、教職員の方々が就職に対してとても力を入れて指導してくださるので、入学できてよかったと感じています。就職について気



掛けていたこともあり、『父母との集い』には息子が1年生の頃から毎年参加しています。そのようなことから、息子とは早くから就職について会話をしてきました。最近では大学からいただいた就職冊子を一緒に読んで読んだり、友だちの就職活動状況を聞いたりしています。親である私たちが見習わなければならないと思うほど、息子は非常に真面目な性格。たまには息抜きも必要だと思うのですが、遊んでいると不安になるようで、筆記試験対策の問題集を買ってきては勉強している姿をよく見かけます。今までに3社ほど採用試験を受けたようですが、これからさらに多くの企業の採用試験に臨んでもらいたいですね。就職先を妥協せず、本人が志望する企業で働けるのであれば親としても嬉しいです。

第51回 中部大学祭のご案内

学内最大の
イベント!

ぜひこの機会に
中部大学へ
お越しください!

テーマ 「挑戦!! ~50年後も輝き続けるために~」

開催日 11月1日(土) ~ 3日(月・祝日)

毎年秋に開催している中部大学祭は、学生の活気ある様子をご覧いただけるチャンスです。

期間中は、研究発表展やクラブ企画、お笑いライブ、各種模擬店など、広大なキャンパスを利用した企画が盛りだくさん。中部大学祭の名物イベントである「8時間自転車耐久レース」は、スピード部門とパフォーマンス部門の2部門があり、毎年熱戦が繰り広げられます。

子どもや地域の方、卒業生…、もちろん保護者の皆さま等、幅広い年齢層の方に楽しんでいただけるよう、学生たちはさまざまな企画を用意してお待ちしています。



平成26年度 「父母との集い」のご案内

ご子息・ご息女の大学生活を知っていただく絶好の機会です。とくに、新入生のご父母の皆さまには参加をおすすめしております。ぜひこの機会にご参加ください。

大学会場 場所: 中部大学

1・2年生の保護者様限定

10月11日(土) 対象学部 人文学部・応用生物学部・生命健康科学部・現代教育学部

10月12日(日) 対象学部 工学部・経営情報学部・国際関係学部

プログラム	9:30~	受付	
	10:00~	全体会	学長あいさつ/学生生活について/就職の活動支援について
	11:30~	学内見学・昼食	附属三浦記念図書館、民族資料博物館など
	13:00~	学部(学科)説明会	教育方針等の説明/学科の先生方による個別面談(要申込)

下記場所にて各種相談を受け付けています。 13:30~

キャンパスプラザ1Fラウンジ ●学生生活 ●入試(大学院・学部) キャンパスプラザ2F国際交流プラザ ●留学 キャリア支援課 2号館1F ●就職

全体会

大学のバックアップ体制をわかりやすくご説明いたします。

学部(学科)説明会

在籍学部・学科の近況をお伝えします。

個別面談

各学科教員や就職担当者が直接お応えいたします。

学内見学

広大なキャンパス内を自由にご見学いただけます。

地方会場

今年は以下の6会場で開催いたします。お申込みの上、お近くの会場へご参加ください。

四日市会場 9月27日(土) 四日市都ホテル

松本会場 10月4日(土) ホテルモンターニュ松本

浜松会場 10月19日(日) ホテルクラウンパレス浜松

岐阜会場 11月8日(土) 岐阜グランドホテル

金沢会場 11月15日(土) ホテル金沢

福岡会場 12月6日(土) 博多エクセルホテル東急

プログラム	10:00~	受付	12:00~	昼食
	10:30~	全体会	12:50~	個別面談

専用ハガキでお申し込みされていない方は、ご希望の会場・期日を選び、事務局まで至急お申し込みください。

中部大学後援会事務局

TEL.0568-51-4745

大学会場は1・2年生の保護者様のみご参加いただけます。また、大学会場は開催日ごとに対象学部が異なります。ご注意ください。



人文学部
歴史地理学科4年

平野 可純さん

- ①本音を包み隠さず話すこと。
- ②自分の可能性を信じてくれること。
- ③履修科目の成績が自宅に届き、成績が悪い科目よりも成績の良い科目に着目して褒めてくれた言葉
- ④いつも迷惑をかけて申し訳ないと思いつつ、自分のことで精一杯な私…。大学を卒業し、就職することで恩返ししたいと考えていますので、これからもよろしくお願ひします。



工学部
機械工学科2年

江寄 舜さん

- ①できるだけ食事を一緒にとり、リビングに
いるようにする。
- ②普段通り。
- ③「おかえり」
- ④「またパチンコ行ったでしょ」
- ⑤いつもお弁当ありがとう。
- ⑥母親と仲の良い温厚な父親



現代教育学部
幼児教育学科2年

深谷 絢果さん

- ①思ったことは全て話す。
- ②期待せずにいつも通りでいてほしい。
- ③高校の部活の引退試合で言ってくれた「いい試合だったよ、ありがとう」
- ④これからも勉強も部活も頑張るので応援お願いします。保育士を目指して頑張ります。
- ⑤周りをよく見て、多くの人から信頼されているお母さん

中部大生に聞きました!

「親との理想的なコミュニケーション」

半分大人で半分子どもとも言える大学生。どう接したらよいか悩む保護者の方も少なくありません。

そこで今回は、皆さんがお子様とより良いコミュニケーションのヒントになることを願って学生へアンケートを実施。

子どもにも子どもの思いが見えてきました。



工学部
機械工学科2年

小澤 俊介さん

- ①毎日挨拶を交わし、食事を一緒にする。
- ②自分たちの経験を教えてほしい。
- ④「そろそろ大人になれよ」
- ⑤毎日迷惑かけてすみません。
- ⑥家庭のこと、子どものことを一番考えてくれる両親と友人の父親



経営情報学部
経営学科3年

金川 楓さん

- ①下宿して親のありがたみが分かったので、少し親と離れること。
- ②「頑張れ」は負担になるので、「なんとかなる!大丈夫!」と言ってほしい。
- ③先のことを心配して不安になる私に言ってくれた「その時考えればいいじゃん」
- ④「勉強しなさい」
- ⑤今まで本当にありがとうございます。これからも迷惑をかけると思いますが、よろしくお願ひします。
- ⑥いつも自分より他人のことを考える素敵な女性だったひいおばあちゃん



生命健康科学部
保健看護学科3年

山田 一真さん

- ①家族全員で食卓を囲み、家族が一つになれる時間を作る。
- ②プレッシャーをかけず、いつもと変わりなく接してもらいたい。
- ③大学受験で合格した後の「おめでとう」
- ④「勉強しろ、そんなことで国家試験受かるの?」
- ⑤毎朝起こしてくれてありがとう。もう少し一人の時間をください。
- ⑥他人に優しく、自分に厳しくできる人。ダメなことはダメと言える人。



国際関係学部
国際文化学科4年
佐藤 諒さん

- ①旅行や買い物、料理、アウトドアを一緒にする。自宅ではある程度自分を抑えて接することで、家と外でのメリハリをつける。
- ②干渉し過ぎず、自分の理想を押し付けない。
- ③筋トレとダイエットをして言われた「凄くマッチョな身体になってるよ」
- ④色々な付き合いで外食や飲み会が続いた時に言われた「お金使い過ぎだから私が管理する」
- ⑤束縛がひどいけど、ここぞという時にわがママを聞いてくれるし、多くの人との繋がりができて良い人生が送れているので、産んでくれてありがとう。
- ⑥笑いを取りながらも、淡々と全てにおいて結果を出している所ジョージ



現代教育学部
幼児教育学科2年
和田 恵里さん

- ①なんでも話す。
- ②普段通りにしてほしい。
- ③部活の試合で良い成績を残せた時の「がんばってきてよかったね」
- ④「最近遊び過ぎ」
- ⑤いつもわがママを聞いてくれてありがとうございます。これからも文武両道で頑張ります。
- ⑥お父さん



国際関係学部
国際文化学科4年
加納 大地さん

- ①買い物や外食、テレビを見るなど一緒に過ごす。
- ②干渉し過ぎず、反対しないこと。
- ③何気ない時の「ありがとう」
- ④「ちゃんとしなさい」
- ⑤なんだかんだ言いながら、いつも助かっています。自分なりに頑張っているのを見守っててください。
- ⑥先のことをきちんと見据えているアルバイト先の社長

④ 親から言われてイヤだった一言

① 親とうまくコミュニケーションを図るには？

⑤ 親へのメッセージ

② 就職活動中に親へ望むこと

⑥ 私にとっての理想の大人

③ 親から言われてうれしかった一言



応用生物学部
環境生物科学科2年
金子 奈央さん

- ①積極的な会話。その日に大学であったことなど、些細なことでも会話する時間を増やすようにしています。
- ②精神面での支え。
- ③受験時に誰の言葉よりも安心した「大丈夫だよ」
- ④一番遊びたい時期に注意された「遊び過ぎなんじゃない？」
- ⑤これからも双子の人生を楽しみます！
- ⑥責任感の強い人



生命健康科学部
保健看護学科3年
志水 武司さん

- ①今日一日の大学での出来事を話す。1日1時間程度、一緒に過ごす時間を作ることや、一緒にご飯を食べる。
- ②気を遣わず普段通りに接してほしい。
- ③大学合格時に一緒に喜んでくれた時の「おめでとう」
- ④料理を手伝い、役に立てなかった時の「何もでさんのだな」
- ⑤大学へ行かせてくれてありがとう。普段あまり言うこともないですが、感謝しています。いつまでも元気でいてください。
- ⑥母親がいない時に料理を作ってくれたり、旅行などの計画を全部立てるなど、行動力がある父親。



経営情報学部
経営学科3年
長谷部 瑞歩さん

- ①買い物と一緒に行き、仲を深める。
- ②就職できるまで私を信じ続けてほしい。
- ③大学合格時の「おめでとう。これから頑張るね」
- ④勉強しようとしていた時の「勉強しなさい」
- ⑤いつも支えてくれてありがとう。
- ⑥なんでも上手くこなすアルバイト先の店長

平成26年度 中部大学後援会

役員会・評議員会

平成26年5月17日(土)、

A N Aクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、

平成26年度中部大学後援会役員会・評議員会が開催されました。

役員、評議員の皆さまには大勢のご出席をいただき、

すべての議事を無事進行、終了したことをここに報告いたします。

報告

平成25年度

後援会事業報告・

決算報告

本会開会にあたり、はじめに小澤寿行会長が、出席された多くの方へ感謝の言葉を述べられました。あわせて後援会の役割について触れ、後援会活動に携わった4年間を振り返り、主役である学生が、勉学を通じて人間的にも成長できるように支援することが最も重要な役割だと挨拶され、あらためて新役員の皆さまへご協力をお願いされました。続いて山下興亜学長から、後援会による大学への多大な支援へのお礼と合わせて、大学の近況報告や、開学50周年を迎える今年にこれまでの50年間の活動を総括し今後を展望する「夢



会長に就任し、ご挨拶される佐藤会長。

構想事業」などのお話がありました。その後、事務局から出席状況の報告と本会の成立が宣言され、慣例により議長に小澤会長が選出され、各議案の審議へと移りました。

第1号議案である「平成25年度事業報告」では、12月におこなわれた「Uターンイダグンス」をはじめ、「学内企業説明会」への協賛等、さまざまな実施概要が報告されました。第2号議案では、「平成25年度



決算報告(監査報告)」がおこなわれ、皆さまのご理解をもって異議なく承認されました。

佐藤新会長をはじめ、 新副会長、 新監査が決定

第3号議案「役員・評議員の選出・委嘱」では、事務局より任期終了にともなう欠員が報告され、後任の選出がおこなわれました。新会長には、幹事の佐藤彦氏が選出され、「保護者の代表として、学生たちのよりよい大学生活の環境づくりを支援すべく、全力で取り組んでいく」とご挨拶がありました。その後おこなわれた役員委嘱では、副会長に関谷和宏氏、監

査に小澤寿広氏が新たに選出され、満場一致で承認。また、顧問には飯吉理事長をはじめとした11名の先生方が委嘱され、同時に欠員にともない幹事・評議員が委嘱されました。

その後、第4号議案の「平成26年度事業計画案」、第5号議案の「平成26年度予算案」がともに審議され、皆さまの拍手をもって承認されました。すべての議事が終了後、記念事業寄付金の目録贈呈が佐藤新会長から山下学長へおこなわれ、山下会長からは、任期を終えられた小澤会長と加藤副会長に記念品が贈呈され、本年度の後援会役員会・評議員会は無事閉会しました。

閉会後は、場所を移して懇親会がおこなわれ、先生方と役員・評議員の皆さまが互いに親睦を深めました。



会長の任期を終えた小澤氏へ感謝状と記念品が贈呈されました。

平成26年度計画

■平成26年度 事業計画

会員と大学との連絡をはかる事業

1. 会議の開催

- 役員会・評議員会及び懇親会
- 大学の先生方との懇親会

2. 「父母との集い」の開催

開催日	開催地	会場
5月10日(土)	大学	中部大学(就職活動支援:4年生対象)
6月21日(土)	大学	中部大学(就職活動支援:3年生対象)
9月27日(土)	四日市	四日市都ホテル
10月 4日(土)	松本	ホテルモンターニュ松本
10月11日(土)	大学	中部大学(人・応・生・現:1・2年生対象)
10月12日(日)	大学	中部大学(工・経・国:1・2年生対象)
10月19日(日)	浜松	ホテルクラウンパレス浜松
11月 8日(土)	岐阜	岐阜グランドホテル
11月15日(土)	金沢	ホテル金沢
12月 6日(土)	福岡	博多エクセルホテル東急

3. 出版事業

- 後援会会報「信賴」の刊行(全会員)

大学への助成

1. 教育・研究への協力
2. 就職活動に対する援助(学内企業説明会)

学生に対する助成

1. 課外教育活動に対する援助
2. チャレンジサイトへの援助
3. 就職活動に対する援助
 - ①学内企業説明会
 - ②資格取得講座・就職対策試験検定料等の補助
 - ③就職支援対策補助
4. 奨学援助
5. 災害見舞金の給付

■平成26年度 予算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	15,053,387	14,248,031	805,356	
後援会会費	135,320,000	135,750,000	△430,000	平成26年度新会員 2,752名×@50,000 複数在籍者 会費減免 △76名×@30,000
雑収入	11,958	12,360	△402	預金利息
合計	150,385,345	150,010,391	374,954	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	113,300,000	102,795,000	10,505,000	
記念事業寄付金	14,000,000	13,755,000	245,000	
課外活動援助金	45,500,000	37,460,000	8,040,000	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	28,000,000	27,510,000	490,000	
就職活動援助金	14,800,000	13,070,000	1,730,000	学内企業説明会、就職支援対策費、 各種講座費用補助、 就職対策検定料補助
学生研究支援金	7,000,000	7,000,000	0	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,000,000	1,000,000	0	教育活動顕彰制度に対する援助
大学開学50周年 記念事業寄付	1,000,000	1,000,000	0	
事業費	24,200,000	24,000,000	200,000	
地区別後援会費	12,000,000	12,000,000	0	「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	4,000,000	0	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,200,000	7,000,000	200,000	「信賴」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	6,970,000	6,970,000	0	
通信運搬費	3,900,000	3,900,000	0	案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	300,000	0	封筒等
消耗品費	300,000	300,000	0	コピー用紙、事務用品等
旅費	20,000	20,000	0	交通費
租税公課	0	0	0	印紙代等
雑費	450,000	450,000	0	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入	0	0	0	
予備費	1,000,000	5,000,000	△4,000,000	
次年度繰越金	4,915,345	11,245,391	△6,330,046	
合計	150,385,345	150,010,391	374,954	

平成25年度報告

■平成25年度 事業報告

月 日	事業概要
5月11日	●就職活動支援のための「父母との集い」(4年生対象) 出席者数414名/全体会、学部(学科)懇談会、個別面談(三浦幸平メモリアルホール)
5月13・14・16・17・ 20・21・23日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 参加企業328社/学生参加者数1,537名(三浦幸平メモリアルホール)
5月25日	●役員会・評議員会・懇親会(名鉄ニューグランドホテル) 平成24年度事業報告、決算報告/役員、評議員改選/平成25年度事業計画、予算審議
6月1日	●平成25年度「父母との集い」案内号発行、発送(全会員)
6月15日	●就職活動支援のための「父母との集い」(3年生対象) 出席者数642名/全体会、学部(学科)懇談会、個別面談(三浦幸平メモリアルホール)
7月18・19・22・23日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 参加企業190社/学生参加者数585名(三浦幸平メモリアルホール)
8月1日	●2012年度教育活動顕彰授賞式(スチューデントホール) 後援会より、教育活動振興支援費として援助 (教育活動優秀賞18名、教育活動特別賞1名、1組編)
8月2日	●中部大学後援会会報「信賴」第59号発行、発送(全会員)
9月22日~11月10日	●「父母との集い」開催 岐阜(台風接近により中止) 四日市、松本、浜松、富山会場/全体会、個別面談 大学会場/全体会、学内見学、学部(学科)説明会、個別面談
10月24・25・28・ 29日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 参加企業189社/学生参加者数498名(三浦幸平メモリアルホール) ●祝金贈呈(幸友会室) 弓道部 第57回東海学生弓道秋季リーグ戦男子優勝 ●「Uターンガイダンス」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 学生参加者130名(937講義室)
1月9・10日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 参加企業114社/学生参加者数239名(リサーチセンター)
2月12日	●役員懇親会(キャッスルプラザ)
2月14・17・18・20・ 21・24~28日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリア支援課主催) 参加企業727社/学生参加者数5,413名(三浦幸平メモリアルホール)
資格取得講座・公務員講座補助 6講座 304名受講 就職対策試験検定料補助 34種 2,713名受講	

■「父母との集い」実施状況 参加者 2,014名

開催地	会場	開催日	参加者
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	5月11日(土)	414名
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	6月15日(土)	642名
四日市	四日市都ホテル	9月22日(日)	47名
松本	ホテルモンターニュ松本	10月 6日(日)	33名
浜松	オークラアクティホテル浜松	10月12日(土)	59名
富山	ホテルグランテラス富山	10月19日(土)	50名
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	11月 9日(土)	355名
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	11月10日(日)	414名

■平成25年度 収支報告書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	14,248,031	14,248,031	0	
後援会会費	135,750,000	135,750,000	0	平成25年度新会員2,751名 複数在籍者 会費減免△60名
雑収入	12,360	12,491	△131	預金利息
収入合計	150,010,391	150,010,522	△131	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	102,795,000	99,375,449	3,419,551	
記念事業寄付金	13,755,000	13,755,000	0	
課外活動援助金	37,460,000	37,460,000	0	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	27,510,000	27,510,000	0	
就職活動援助金	13,070,000	9,900,270	3,169,730	学内企業説明会、 各種講座補助、 就職対策試験検定料補助
学生研究支援金	7,000,000	7,000,000	0	チャレンジサイト協力金
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,000,000	750,179	249,821	教育活動顕彰制度に対する援助
大学開学50周年 記念事業寄付	1,000,000	1,000,000	0	
事業費	24,000,000	19,085,588	4,914,412	
地区別後援会費	12,000,000	9,030,893	2,969,107	「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	3,243,171	756,829	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	6,741,524	258,476	「信賴」作成費等
災害見舞金	1,000,000	70,000	930,000	
事務費	6,970,000	6,496,098	473,902	
通信運搬費	3,900,000	3,649,799	250,201	案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	222,300	77,700	封筒等
消耗品費	300,000	236,964	63,036	コピー用紙、事務用品等
旅費	20,000	880	19,120	交通費
租税公課	0	0	0	印紙代等
雑費	450,000	386,155	63,845	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入額	0	10,000,000	△10,000,000	
定期預金預入		10,000,000	△10,000,000	
予備費	5,000,000	0	5,000,000	
次年度繰越金	11,245,391	15,053,387	△3,807,996	
支出合計	150,010,391	150,010,522	△131	

平成26年度中部大学後援会役員・評議員

顧問

[理事長・総長]
飯吉 厚夫

[学長]
山下 興亜

[副学長]
中島 泉
後藤 俊夫
岸田 民樹
太田 明徳

[学生教育推進機構]
機構長、キャリア部長
佐藤 厚

[学生教育推進機構]
副機構長、学生部長
栗濱 忠司

[学生教育推進機構]
副機構長、教務部長
大西 直之

[法人本部長]
大西 信之

[大学事務局長・
後援会事務局長]
川尻 則夫

会長

佐藤 一彦

副会長

藤井 勝也

関谷 和宏

監査

大柳 一三

小澤 寿広

乾 高章

幹事

奥山 孝則

大島 実

渡邊 勝己

河地 隆

増井 康

林本 知明

横山 豊

松本 敬史

山本 信幸

森本 茂

竹内 数夫

澤田 高樹

熊澤 秀作

長尾 伸一

梶田 隆之

西尾 崇

伊丹 伸司

伊藤 慎一

堀池 明

松島 利和

近藤 隆義

萩田 典由

傍島 茂夫

土居 正司

佐野 雅彦

二村 葉子

大森 雅之

田中 康隆

村瀬 満志郎

中根 志郎

伊藤 寿規

安藤 達也

田中 康司

岡田 裕吉

加藤 幸平

戸川 比佐夫

羽賀 幸治

奥山 正一

坂口 直宏

武藤 和成

中野 兼二

長沼 邦彦

古池 俊通

上平 諭

高田 真

澤田 博昭

岡本 馨

美濃 島

小倉 浩靖

永田 孝

高原 宏彰

森 重人

角田 茂

杉山 正幸

小島 保彦

小椋 浩二

小笠 昌宣

市原 裕

森山 行良

高田 芳紀

溝口 直樹

山口 康

高木 幸典

平光 雅明

森 信一郎

伊藤 和義

加藤 道夫

古田 光延

矢代 浩一

三船 正雄

下村 忠

榊原 正弘

里中 英雄

岡野 誠

小野 滋弘

東野 昌宏

鈴木 敬二

西田 裕幸

加藤 光男

澤田 和彦

熊井 俊哉

加藤 裕治

伊藤 一陽

奈良 章

佐野 孝之

水野 淑治

宮部 賢正

寺嶋 敏泰

花枝 直樹

加茂 義浩

熊谷 友佳子

本多 俊太郎

松山 弘和

成瀬 季彦

住田 幸利

関 方春

小倉 和夫

後藤 一彦

土屋 紀泰

吉田 正法

神谷 太郎

安江 久也

墨田 利孝

羽澄 直樹

飯伏 多喜雄

江口 邦仁

安齋 初義

吉沢 和義

原田 啓吏

纈 博仁

和田 章

評議員

筒井 千佳子

小山 邦壽

高村 富男

堀田 誠治

中村 保之

籠橋 宏伸

川上 千尋

小出 義彦

加納 憲一

高木 威

水谷 功司

遠藤 修市

近藤 雄司

加藤 起二

猪野 浩史

倉内 久幸

山本 雅明

鈴木 芳信

横井 正幸

堀辺 克彦

石黒 信男

纈 雄治

太田 敦之

永田 貴司

榊原 正樹

木下 京司

鷹見 偉

上田 宏

入谷 貴也

福盛 正和

小野 浩司

金崎 登士巳

山崎 美知男

三宅 敏

林 勝

柳生 高之

横地 幸行

大矢 康博

伊藤 彰浩

佐渡 直隆

渡邊 孝文

赤尾 忠則

長崎 隆之

村瀬 信志

鈴木 正陽

野々垣 学

足立 昌秀

新實 津子

近藤 秀徳

進士 巧助

柴田 憲智

福永 智司

柏木 博喜

東松 正雄

井上 光司

神田 永吉

加藤 義昌

渡邊 高政

酒井 政人

河野 孝司

水野 高芳

瀬戸 善行

川屋 文博

河原 伸平

池之上 博

小池 新治

安藤 大二

高柳 雄彦

山口 敏弘

吉澤 敏二

小出 昌人

柴田 和彦

長縄 池田

加藤 真人

伊藤 嘉規

岩田 宗俊

遠藤 友和

大石 田雄

小木 曾直

下妻 隆

野々山 千春

足立 武仁

望月 宏一

真野 鐘

植田 和彦

近藤 正意

武儀 山

久志 明

毛受 光

早瀬 隆男

横田 義一

安藤 美正

宇佐 良典

片倉 出司

川野 昌也

加藤 勝典

岩田 富男

山崎 浩明

中島 康次

富井 信明

富井 雅樹

佐藤 博文

中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助
(3) 大学と父母との連絡・会報の発行
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員 中部大学学生の父母
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。
会長 1名 / 副会長 2名 / 幹事 各学科若干名
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任務は次のとおりとする。
会長は会務を総理し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。
2 役員は任期満了後でも、後任の役員が選出されるまでは、なおその職務を行う。
- 第10条 役員会は役員をもって組織し、会長が招集する。
2 役員会は次の事項を審議決定する。
(1) 事業計画に関する事項 (2) 予算に関する事項
(3) 決算に関する事項 (4) その他会長が必要と認める重要事項
3 役員会は役員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数によって決定する。

- 第11条 本会に評議員会をおき、評議員をもって組織する。
2 評議員会は毎年1回会長が招集し、次の事項を取り扱うものとする。
(1) 事業計画の承認 (2) 予算、決算の承認
(3) 会長及び監査の選出 (4) 会則の改正
(5) その他役員会において重要と認める事項
3 臨時評議員会は、必要に応じて会長が招集する。
4 評議員会は、評議員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は過半数の同意によって決定する。
5 評議員会は会員のうちから別に定める定数基準によって会長が委嘱する。
6 評議員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第12条 本会の経費は会費及び寄付金をもってあてる。
2 正会員の会費は50,000円とし、子女入学の際に納入する。
3 賛助会員の会費は、50,000円以上とし、入会の際に納入する。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会の事務局は、庶務、会計の事務にあたる。
- 第15条 本会に地方支部をおくことができる。

[附 則]

- (1) この会則は昭和42年4月13日から施行する。
(2) この会の運用について必要な細則は役員会において別に定める。
(3) 昭和43年 4月12日 一部改正
(4) 昭和45年 4月 8日 一部改正
(5) 昭和46年 4月 8日 一部改正
(6) 昭和48年 4月 8日 一部改正
(7) 昭和50年 4月 7日 一部改正
(8) 昭和50年12月20日 一部改正
(9) 昭和59年 4月 1日 一部改正
(10) 昭和61年 4月 1日 一部改正
(11) 昭和62年 4月 1日 一部改正
(12) 平成12年 5月27日 一部改正

2013.7-2014.6 YEAR ALBUM

この一年間で開催された大学行事を
ピックアップしてご紹介します。



8/4~7

自然の中で楽しく学ぶ フレッシュマンキャンプ

岐阜県高山市の新穂高山荘をベースに第52回フレッシュマンキャンプが行われました。参加者は、1年生43人、リーダー学生11人、カウンセラーの教職員9人。恒例の穂高鍋作り、キャンプファイヤなどを行いました。山登りは悪天候のため中止となり、上高地散策を行いました。



8/1

さらなる質の高い教育を目指して 2012年度 中部大学教育活動顕彰授賞式

2008年度に始まった「教育活動顕彰制度」のもと、2012年度教育活動優秀賞18人および教育活動特別賞1教員と1組織が決定し、授賞式が行われました。山下興亜学長から受賞者にお祝いと激励のあいさつがあり、記念の楯が贈られました。続いて、小澤後援会長から受賞者の先生方に教育活動振興支援金が贈呈されました。



10/16

もっとクリーンなキャンパスへ 学内清掃キャンペーン

C.U.P. (Clean Up Project in Chubu Univ.) が中心となり、第17回学内清掃キャンペーンが行われ、学生、教職員合わせて約160人が参加しました。参加者らは受付で清掃道具を受け取ると、グラウンド、クラブハウスなど学内各所に分かれて、ゴミやタバコの吸い殻などを拾いました。



9/14

将来を見据える絶好の機会 生命健康科学部・応用生物学部 合同就職説明会

生命健康科学部・応用生物学部の合同就職説明会が開催され、両学部の3・4年生約170人が参加しました。この合同就職説明会は、国家資格を伴う理学療法士・作業療法士・臨床検査技師・管理栄養士を求人する実習施設を対象としたもので、ブース形式(20施設)とプレゼン形式(11施設)で行われました。



11/23

4先生127人が決意表明 保健看護学科「立志会」

生命健康科学部保健看護学科4年生と家族、臨地実習先の病院関係者、教職員、3年生の約500人が出席して開催された「立志会」。127人の4年生全員がキャンドルを手に、Kiroroの『未来へ』を合唱し、これまでの指導と支援への感謝を述べ、国家試験に向けて決意を新たにしました。

練習の成果を音色にのせて 第10回 中部大学音楽祭

第10回中部大学音楽祭が春日井市民会館で開催され、580人の聴衆が来場しました。シンフォニックバンドによるドリルステージから始まり、音楽系5クラブの総勢220名が次々と日頃の練習の成果を披露。卒業生の林祐市さん(ピアノ)を中心に活躍するピアニトリオ「TRISPACE」による演奏も行われました。音楽祭終了後、ボランティア・NPOセンターの学生らの呼びかけに、心温まる募金が多く寄せられました。



団員一人ひとりが心を一つにして熱い演奏を届けてくれた「管弦楽団」。



落ち着いた雰囲気からパワフルなサウンドまで楽しませてくれた「軽音楽部」。



気持ちのこもった歌声で合唱の素晴らしさを伝えた「混声合唱団」。



「TRISPACE」の皆さんは3曲を披露。美しいメロディーで聴衆を魅了しました。

11/2~4

多彩な催しが盛りだくさん 第50回 中部大学祭

今回のテーマは、「NOTE!!～思い出の1ページ～」。大学祭の目玉企画「8時間自転車耐久レース」をはじめ、「中部大学秋の音楽祭」「お笑いLIVE」など、さまざまな催しが行われ、3日間を通して多くの来場者で賑わいました。本学の卒業生を対象に行われる「ホームカミングデー」では、家族連れの卒業生の姿が多く見られました。



アップダウンが激しいコースの中、スピード部門では8時間の周回数を競います。



春日井市制70周年を記念した「大声コンテスト」も開催されました。春日井市のマスコットキャラクター道風くん(とうふうくん・右から2番目)と並ぶ中部大学マスコットキャラクターちゅとら(右)。



書道部によるパフォーマンス。書のまち春日井の盛り上げにもひと役買っています。



2/8

最高の音楽を地域の皆さまへ 第75回 キャンパスコンサート

NHK交響楽団クラリネット首席奏者の松本健司さんによるリサイタルが三浦幸平メモリアルホールで開催されました。当日は、雪の降り積もるあいにくの天候となりましたが、来場いただいた皆さんを魅了するコンサートでした。



1/10

大学の仲間たちと志を新たに 成人を祝う会

今年、大学で成人を迎えた学生は2,411人。会には約380人の学生が参加しました。山下興亜学長がお祝いの言葉を述べ、新成人を激励しました。その後、代表者が記念品を受け取り、燭台へ点灯。続いて、国際レーシングドライバーの井原慶子さんによる講演が行われ、多くの学生が熱心に耳を傾けました。

4カ月間の長期研修に20人が出発 オハイオ大学長期研修出発

中部大学と約40年の交流の歴史を持つオハイオ大学へ、20人の学生が長期研修に出発しました。現地では、オリエンテーション、キャンパス見学、ウォルマートでの買い物などを行い、翌日から授業へ参加。学生寮ではオハイオ大学の学生との生活が始まりました。授業以外にも、バスケットボールの観戦や、近くの小学校へ訪問して児童と交流するなど、さまざまなイベントを体験。4カ月後の成長が楽しみです。



3/8



4/1

希望に満ちた学生生活の幕開け 平成26年度 入学式

学部入学生2,738名、3年次編入学生15名、大学院生129名の合計2,882人を迎えて入学式が行われました。開式の辞、国歌斉唱の後、山下興亜学長が入学許可宣言を行い、告辞を述べました。続いて新入生代表が宣誓し、各学部の代表者が学部長の前でそれぞれ入学宣誓簿に署名、全員で校歌を斉唱しました。



3/22

新しい門出を盛大に祝う 平成25年度 中部大学・ 中部大学大学院学位記授与式

学部生2,032人、大学院生124人(内博士3名)が卒業するにあたり、山下興亜学長から各学部の代表者に学位記が手渡されました。山下学長が告辞を行った後、卒業生代表が謝辞を述べ、最後に全員で校歌を斉唱して式を終えました。式後も後輩たちが卒業生を取り囲み、新たな門出を祝う光景がいたるところで見受けられました。



5/28

同じ境遇の不安も喜びも共有 ひとり暮らし入門

学生相談室が毎年5月に開催するこの企画は、簡単レシピの紹介や、トラブル対策、大学周辺のお店や病院情報など、ひとり暮らしを楽しむヒントが満載です。今回は調理実習を行い、「キャベツスープ」「きゅうりの塩昆布和え」「たこ焼き(たこの代わりにウィンナー)」「春巻き」の4品を調理しました。



4/16

共に学ぶ仲間を歓迎 新入留学生歓迎会

午後3時30分より学生ホールで「2014年度新入留学生歓迎会」を開催。短期留学生とは違い、日本人の学生と同じ学部・大学院で学ぶ留学生の皆さん16名を迎えました。後藤副学長のあいさつ、栗濱学生部長の乾杯で歓迎会がスタート。留学生を代表して鄭細芳さん(中国)とマシュー ラニガン(米国)さんがあいさつをしました。



学科ごとにおそろいのTシャツを来て参加。綱を引く手にも力が入ります。

スポーツを通して絆を深める 全学学科対抗スポーツ大会

今年からロボット理工学科が加わり、30学科対抗になった第12回大会。あいにくの天候ながらも、無事すべての競技を行いました。前回大会に続いて今年もスポーツ保健医療学科が優勝し、4連覇を達成しました。



呼吸を合わせて100回超え。写真は長縄跳びで2位になった情報工学科。

6/11

大会総合結果

優勝 スポーツ保健医療学科

第2位 理学療法学科

第3位 機械工学科

競技種目

- リレー男子(4×100m)
- リレー女子(4×50m)
- 長縄跳び
- Tug of War sport(綱引き)
- アジャタ競技(玉入れ)

構想を立てて確かな将来像を提示 開学50周年夢構想事業

開学からこれまでの50年間の活動を総括し、今後(10年、20年、それ以降)を展望する夢構想事業。各学部主催で、さまざまなイベントを開催しました。

工学部 座談会「工学における『あてになる人間』への追究」(2014/2/22)

経営情報学部 「学生ビジネスプランコンテスト」(2013/12/4)

国際関係学部 「夢構想」シンポジウム「国際」という夢をつむぐ(2014/1/22)

人文学部 シンポジウム「未来への扉を開く! 中部大学人文学部」(2014/5/14)

応用生物学部 夢構想フォーラム「バイオ支援型持続可能社会の実現に向けて」(2014/6/28)

生命健康科学部 「夢構想」シンポジウム「医療人の役割とは～現在と未来のあるべき医療の姿を考える」(2014/3/13)

現代教育学部 地(知)の拠点整備事業 なるほど! 子どもアカデミー(2014/8/5・6予定)



施設利用 & イベント開催のご案内

多彩な設備を完備し、教養を深める知的資産の提供や生涯学習などをおこなっている中部大学。開かれた総合大学をぜひご利用ください。

附属三浦記念図書館/民族資料博物館

多種多様な学術情報を提供。

地下2階、地上3階建ての建物に、約45万冊の蔵書冊数を誇る「知の宝庫」。大学全体では約62万冊を蔵書しています。視聴覚資料も整備され、音楽・語学用のテープ、CDやビデオを、専用ブースで楽しめます。また、同館2階には、国際関係学部の研究者らが研究の一環として集めた国際色豊かな資料を展示する「民族資料博物館」もあります。保護者の皆さまにもご利用いただけます。



附属三浦記念図書館



民族資料博物館

中部大学音楽祭

記念すべき節目の年の音楽祭。

開学50周年を迎える2014年、今年も音楽祭を開催いたします。本学の5つの音楽系クラブが、日頃の練習の成果を存分に発揮する機会は、学生たちの晴れ舞台の一つ。幼い頃から楽器を続けてきた人も、大学で初めて楽器に触れた人も、みんなが一緒になって練習に力を注ぎ、音楽祭に向けて準備を進めています。開催日は、平成26年11月30日(日)の予定です。詳細は、決定次第ホームページで公開いたします。



新穂高山荘

四季折々の魅力を満喫できます。

新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置する絶好のロケーションが魅力です。スケールの大きい雄大な山岳美と新緑・紅葉の美しさは、まさに自然の宝庫。溪流にそった16,000m²の敷地には、24時間利用可能な石造りの露天風呂を備えた温泉施設もあります。学生、教職員、卒業生とご家族の厚生施設として利用され、もちろん在学生のご家族もご利用いただけます。お申込みは後援会事務局まで。



オープンカレッジ

オープンカレッジ聴講生募集。

地域の皆さまに大学の講義をオープンカレッジとして開放しています。その数、約150科目。中部大学の選りすぐりの講義を大学生と一緒に受講してみませんか? 学生食堂や図書館、駐車場(登録制)、スクールバス(有料)も利用いただけます。

講義期間

春学期: 4月~7月
秋学期: 9月~1月

講義回数

週1回(約4ヵ月間) 14~15回

聴講料

1科目 **10,000円**
※後援会会員とその配偶者の方は5,000円となります。

登録料

5,000円(初回のみ)
※後援会会員の方は無料となります。

お問い合わせ

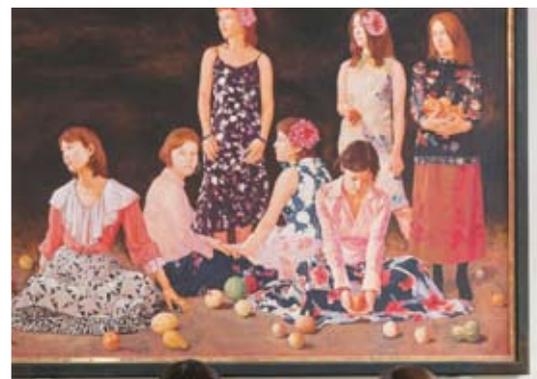
お電話にてお問い合わせください。

〈エクステンションセンター〉

TEL.0568-51-4392 (直通)

中部大学 エクステンション 公開講座

検索



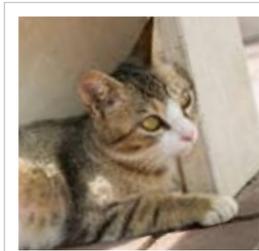
緑豊かなキャンパスは、
学生たちのステージ。
満面の笑みがこぼれたとき、
誰もが主役になります。

LIFE





MY CAMPUS



「学生支援センター棟(仮称)」 工事進行中

開学50周年記念事業の一つとして建設中の「学生支援センター棟(仮称)」は、先に附属三浦記念図書館に開設した「ラーニング・commons」をさらに進化させた「スチューデント・commons」と、学生同士の発表会や各種イベントに対応できる「多目的大ホール」、学生同士の立場で上級生が下級生からの相談に対応する「ピア・サポートセンター」を中核とし、併せてこれらを効果的に運用するための教育プログラムを開発します。また、学生支援窓口である「学生教育部(学生支援課、教務支援課、キャリア支援課)」を移転し充実させるほか、最上階にはオーブンテラスを備えた「カフェテリア・スペース」を設け、飲



※写真は計画段階のイメージ図です。実際の完成イメージとは異なる場合があります。

食サービスの提供に加え、学生スタッフを活用したインターンシップ(就業体験)プログラムも検討しています。2015年4月の完成を目指して着々と工事が進められています。

フロアガイド(予定)

- 6F カフェテリア
- 5F キャリア支援課
- 4F 学生支援課・教務支援課
- 3F アクティブ・ラーニング・commons
- 2F スチューデント・commons
- 1F 多目的ホール(380席予定)

工学部ロボット理工学科が 今春から始動



中部大学30番目の学科として、ロボット理工学科が誕生しました。目指しているのは、ロボット共存社会を実現できる、質の高いロボットエンジニアの育成。本学はこれまで「ロボットチャレンジ」や小学生を対象にしたロボットセミナーの開講など、ロボットに関するさまざまな活動を行ってきました。ロボットがトレンドだからではなく、これまでの地道な活動があつての開設といえます。

人気サンドイッチチェーンが オープン



毎日店内で焼き上げるパンに、新鮮な野菜をたくさん挟んだサンドイッチで人気の「SUBWAY」が、今春、キャンパスプラザ1階にオープンしました。パンや野菜、トッピング、ドレッシングを選んで、自分好みのサンドイッチを作れることから、日によっていろいろな味が楽しめると好評。カラー表示があるのも健康管理を気にする学生には魅力的です。

経営情報学部21号館の ラウンジが拡張



21号館1階のラウンジが2013年10月に拡張オープンしました。従来のスペースに拡張部分もあわせて52のテーブルと179席のイスが配置され、拡張部分の一角はラーニング・コモンズ(36席)のスペースとなつています。ランチタイムはもちろん、空き時間にも経営情報学部の学生が集っている姿を見ることができます。

キャンパスプラザ1階ラウンジの 机とイスがリニューアル



今春、キャンパスプラザ1階ラウンジの机とイスが新しくなりました。机とイスの高さがそれぞれ高くなることで、勉強しやすい環境になり、「マクドナルド」や「SUBWAY」の飲食スペースとしても利用できるようになりました。また、キャンパスプラザから外へ出たスペースにもテーブルとイスが配置され、学生が集えるスペースが増えました。

Campus Map

- ① 1号館〈本部棟／事務局／教務支援課／学生支援課〉
- ② 2号館〈事務局／研究室／講義室／ゼミ室／キャリア支援課／エクステンションセンター／渉外課〉
- ③ 3号館〈生産技術開発センター／分析計測施設／実験室〉
- ④ 5号館〈研究室／実験室／ゼミ室〉
- ⑤ 新5号館〈メディア教育センター／実験室／講義室〉
- ⑥ 6号館〈研究室／講義室／実験室／ゼミ室〉
- ⑦ 7号館〈工学センター棟／工学部事務局／研究室／ゼミ室〉
- ⑧ 8号館〈CAD教育施設／実験室／実習室〉
- ⑨ 9号館〈保健管理室／講義室／研究室／学生ラウンジ／教職支援センター／学習支援室〉
- ⑩ 10号館〈コンピュータサポートデスク／講義室／ゼミ室／学生ラウンジ〉
- ⑪ 11号館〈研究室／実験室／講義室〉
- ⑭ 14号館〈セミナー室／実験室／研究室〉
- ⑯ 16号館〈総合研究センター〉
- ⑰ 17号館〈研究室／実験室〉
- ⑱ 18号館〈材料構造実験施設〉
- ⑲ 19号館〈語学センター／建築製図室／第2学生ホール／講義室／学生ラウンジ〉
- ⑳ 20号館〈国際関係学部事務局／研究室／ゼミ室／学生ラウンジ／日本語教育センター／語学センター〉
- ㉑ 21号館〈経営情報学部事務局／研究室／講義室／ゼミ室／学生ホール〉
- ㉒ 22号館〈講義室／総合情報センター〉
- ㉔ 24号館〈総合情報センター〉
- ㉕ 25号館〈人文学部事務局／講義室〉
- ㉖ 26号館〈研究室／ゼミ室〉
- ㉗ 27号館〈メディア教育センター・スタジオ／講義室〉
- ㉘ 28号館〈講義室／実験室〉
- ㉙ 29号館〈クラブ・サークルプラザ／体育・文化センター事務局〉
- ㉚ 30号館〈応用生物学部事務局／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉛ 31号館〈研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉜ 32号館〈実験室〉
- ㉝ 33号館〈研究室／実験室／実習室〉
- ㉞ 36号館〈実験室／実習室〉
- ㉟ 50号館〈生命健康科学部事務局／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㊱ 51号館〈講義室／ゼミ室／実習室／学生ホール〉
- ㊲ 52号館〈講義室／研究室／実習室／多目的室〉
- ㊳ 53号館〈実験動物教育研究センター〉
- ㊴ 55号館〈講義室／研究室／実験室／実習室〉
- ㊵ 70号館〈現代教育学部事務局／研究室／ゼミ室／講義室〉
- ㊶ 71号館〈講義室／実習室／器楽演奏室／多目的室〉
- ㊷ 72号館〈講義室／実習室〉



- A 三浦幸平メモリアルホール
- F 創立者胸像
- K 三幸橋
- P 第3学生ホール
- B キャンパスプラザ
- G 体育・文化センター
- L 弓道場
- Q フロンティア研究棟
- C 第1学生ホール
- H 体育館・講堂
- M 洞雲亭／工法庵／燭柯軒
- R 温室棟
- D 附属三浦記念図書館
- I サブアリーナ
- N 野外ステージ
- S リサ農園
- E リサーチセンター
- J 高電圧実験室
- O 武道体育館

テレフォンガイド

お問い合わせ内容	担当部署
後援会について	●「父母との集い」 ▶ 後援会事務局 (渉外課) 0568-51-4745 (直通)
成績・学業に関すること	●試験・各種証明書 (成績・在学・卒業・卒業見込) ●教職課程 ●その他、就学上の相談 ▶ 教務支援課 0568-51-4593 (直通)
学生生活について	●休学・退学、住所変更等 ●奨学金 ●アルバイト ●下宿 ●クラブ活動 ●学生相談 ●カウンセラー紹介 ▶ 学生支援課 0568-51-4697 (直通)
就職について	●資格取得講座 ●インターンシップ ●学内企業説明会 ▶ 学生相談室 0568-51-9843 (直通)
学費・その他の納付金について	▶ キャリア支援課 0568-51-4184 (直通)
入学試験について	▶ 会計課 0568-51-4461 (直通)
国際交流 (留学) について	▶ 広報課 入試課 ※入試情報ホットライン 0120-873941 (直通)
生涯学習に関すること	▶ 国際センター 0568-51-4694 (直通)
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて	▶ エクステンションセンター 0568-51-4392 (直通)
	▶ 渉外課 0568-51-5250 (直通)

中部大学 / 代表番号 ▶ 0568-51-1111 総合相談コーナー ▶ 0568-51-6417

中部大学ホームページもご利用ください。 <http://www.chubu.ac.jp/>

住所変更について

住居移転、町名変更などによって住所に変更があった場合、学生支援課への届け出が必要となります。お手数ですが、ご子息・ご息女に学生支援課までお越しくださるようご連絡をお願いいたします。

中部大学後援会就職活動援助

後援会では、資格取得講座、就職対策講座の受講料・受験料の補助をしております。ご子息・ご息女の就職活動のスキルアップや将来設計に、ぜひ受講をおすすめください。